

令和5年版

消防年報



【栗原消防署北分署配備の消防ポンプ自動車・高規格救急車】



栗原市消防本部

目 次

総 務	1. 栗原市の概要	1
	2. 庁舎施設概要	1
	3. 栗原市消防本部の沿革	3
	4. 栗原市消防本部・消防署所等所在地及び管轄区域	6
	5. 管内地区別面積・人口・世帯数	7
	6. 令和5年度消防予算（当初予算）	7
	7. 消防の組織・機構（本部、署所）	8
	8. 消防本部事務分掌	9
	9. 栗原消防署事務分掌	11
	10. 消防発足からの消防職員数	13
	11. 消防職員定数・現員数及び配置状況	14
	12. 消防職員階級別年齢	15
	13. 消防職員勤続年数	15
	14. 消防職員技術資格取得状況	16
	15. 職員教育派遣状況	17
	16. 消防応援協定	18
	17. 栗原市消防団の消防力現勢	19
	18. 栗原市消防団組織図	19
警 防	1. 栗原市消防本部通信系統図	20
	2. 栗原市消防本部無線系統図	21
	3. 気象観測状況	22
	4. 消防車両等一覧表	23
	5. 消防車両等配置状況	24
	6. 消防資機材配置状況	25
	7. 消防活動状況	26
	8. 回線別119番受信件数	27
	9. 災害情報案内利用状況	27
	10. 臨時ヘリポート一覧	28
	11. 緊急消防援助隊活動状況	29
	12. 消防相互応援協定に基づく活動状況	29
火 災	1. 火災発生状況及び損害額（月別）	30
	2. 火災発生状況及び損害額（地区別）	31
	3. 火災件数、損害額及び焼損面積（地区別月別）	32
	4. 火災発生状況（主な出火原因別）	33
	5. 火災発生状況（出火時間帯別）	33
	6. 火災発生状況（気象別）	34
	7. 火災出場状況（月別）	35
	8. 火災出場状況（署所別）	36
	9. 火災件数（年別）	37
	10. 過去5年間の火災件数（火元建物用途別）	38
	11. 過去3年間の火災発生状況	39
	12. 過去3年間における火災件数（月別）	40
	13. 過去3年間の主な出火原因	40

<hr/>				
救急・救助〈救急〉	1.	事故種別救急出場状況	41	
	2.	月別救急出場状況	42	
	3.	曜日別救急出場状況	43	
	4.	時間別救急出場状況	44	
	5.	地区別救急出場状況	45	
	6.	署所別救急出場状況	46	
	7.	性別・年齢別搬送状況	46	
	8.	傷病程度別搬送状況	47	
	9.	収容所要時間状況	47	
	10.	不搬送件数及び事由	47	
	11.	救急隊員の行った応急処置件数	48	
	12.	事故種別・医療機関別搬送人員	49	
	13.	東北自動車道管轄区域	50	
	14.	東北自動車道への救急出場状況	51	
	15.	年別救急出場状況及び搬送人員	52	
	16.	過去10年間の事故種別救急出場状況	53	
	17.	救急講習実施状況	54	
	〈救助〉	18.	救助活動実施状況	55
		19.	救助隊使用資機材等保有状況	56
<hr/>				
予 防	1.	危険物施設の現況	57	
	2.	危険物施設の申請・届出処理状況（月別）	58	
	3.	危険物施設の申請・届出処理状況（施設別）	59	
	4.	危険物施設の立入検査状況	60	
	5.	宮城県からの権限移譲事務に伴う申請・届出処理状況	61	
	6.	防火対象物の現況	62	
	7.	防火対象物の立入検査状況	63	
	8.	消防法及び火災予防条例の届出処理状況	64	
	9.	防火管理者を定めなければならない防火対象物数 及び防火管理者・消防計画届出状況	65	
	10.	防火管理講習受講状況	66	
	11.	建築物状況（地区・階別）	67	
	12.	建築許可等の同意事務処理状況（地区・工事別）	68	
	13.	建築許可等の同意事務処理状況（地区・月別）	68	
	14.	建築許可等の同意事務処理状況（地区・用途別）	69	
	15.	婦人防火クラブ及び幼年消防クラブの現況	70	
	16.	広報活動状況	70	
<hr/>				
その他	1.	防災学習センター利用状況	71	
	2.	栗原市消防団協力事業所表示証交付事業所数	72	

総務

1. 栗原市の概要
2. 庁舎施設概要
3. 栗原市消防本部の沿革
4. 栗原市消防本部・消防署所等所在地及び管轄区域
5. 管内地区別面積・人口・世帯数
6. 令和5年度消防予算（当初予算）
7. 消防の組織・機構（本部、署所）
8. 消防本部事務分掌
9. 栗原消防署事務分掌
10. 消防発足からの消防職員数
11. 消防職員定数・現員数及び配置状況
12. 消防職員階級別年齢
13. 消防職員勤続年数
14. 消防職員技術資格取得状況
15. 職員教育派遣状況
16. 消防応援協定
17. 栗原市消防団の消防力現勢
18. 栗原市消防団組織図



令和5年 消防出初式

1. 栗原市の概要

栗原市は、宮城県の北西部に位置し、平成17年4月1日に9町1村が合併し、誕生しました。

市の北部は、岩手県や秋田県と接し、西部から南部にかけては大崎市に、東部は登米市と隣接しており、面積は宮城県内最大で804.97k㎡であります。その約半分は森林・原野が占めています。令和5年3月末現在の人口は62,672人で、そのうち65歳以上の高齢者人口は26,278人、高齢化率は41.9%と年々増加傾向にあります。

市内の交通体系は、国道4号と東北自動車道が南北に貫き、東西には国道398号が交差しており、平成23年11月には、栗原圏域と登米圏域の交流や連携を強化する地域高規格道路として、みやぎ県北高速幹線道路が開通しました。

また、鉄道網についても恵まれた環境にあり、東北新幹線やJR東北本線が市内を縦貫し、仙台市や首都圏と直結しています。

自然環境では、市北西部に国定公園に指定されている標高1,626mの栗駒山がそびえ、その栗駒山から迫川や二迫川、三迫川が南東に流れており、市の南東部にはラムサール条約登録湿地である伊豆沼や内沼があり、山林や丘陵、平地、湖沼と変化に富んだ地形を形成しています。

さらに平成27年9月には、栗原市全域が日本ジオパークに認定され、貴重な自然遺産を抱える地域であることが証明されました。

2. 庁舎施設概要



名 称	栗 原 市 消 防 庁 舎
所 在 地	栗原市築館字留場中田 111 番地 1、199 番地（防災駐車場）
敷 地 面 積	庁舎・車庫・訓練施設：5,544.99 m ² 、防災駐車場：2,672.45 m ²
構 造	庁舎：鉄骨造3階建（免震構造）、車庫：鉄骨造2階建（耐震構造） 防災倉庫：鉄骨造平屋建
延 べ 面 積	庁舎等：3,802.80 m ² 、防災倉庫：211.68 m ²
建 築 費	1,811,305,000 円
建 築 年 度	平成17～19年度



名 称	東 分 署
所 在	栗原市若柳字福岡小谷町浦 157 番地 2
敷地面積	2,556.0 m ²
構 造	鉄骨造平屋建
延べ面積	603.49 m ²
建 築 費	210,165,000 円
建 築 年 度	平成 21 年度
備 考	



名 称	北 分 署
所 在	栗原市栗駒中野田町西 44 番 地 2
敷地面積	2,500.48 m ²
構 造	鉄骨造平屋建
延べ面積	604.45 m ²
建 築 費	234,048,000 円
建 築 年 度	平成 23 年度
備 考	



名 称	南 出 張 所
所 在	栗原市瀬峰上富前 295 番地 2
敷地面積	2,000.05 m ²
構 造	鉄骨造平屋建
延べ面積	506.87 m ²
建 築 費	177,120,000 円
建 築 年 度	平成 20 年度
備 考	



名 称	西 出 張 所
所 在 地	栗原市一迫字嶋舩反町 77 番地 2
敷地面積	2,001.02 m ²
構 造	鉄骨造平屋建
延べ面積	461.76 m ²
建 築 費	183,073,000 円
建 築 年 度	平成 22 年度
備 考	

3. 栗原市消防本部の沿革








年 月	内 容
昭和43年11月 11月	栗原郡10カ町村が、知事に栗原地区消防事務組合の設立許可を申請。(11月15日) 宮城県知事から栗原地区消防事務組合の設置許可を受ける。 (11月20日 宮城県指令第15899~15908号)
昭和44年 4月 4月 4月	栗原地区消防事務組合が発足し、第1回組合議会が開催。 消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める等の政令の一部が改正され、栗原郡10カ町村が政令指定になる。 栗原地区消防事務組合消防本部を設置。(4月1日)
昭和45年 2月 3月 4月	消防本部・築館消防署庁舎が竣工。 栗駒分署及び鶯沢出張所庁舎が竣工。 栗原地区消防事務組合築館消防署を設置。(4月1日)
	職員定数を72名に定め、1本部1署2分署1出張所体制で消防業務を開始。 (職員数57名、消防ポンプ車8台)
11月	若柳分署庁舎が竣工し、旧若柳町常備部庁舎から移転。
昭和46年 3月 4月 6月 10月	職員定数を80名に改める。 築館消防署に救急車1台を配備し、救急業務を開始。 栗原郡10カ町村が、救急業務を行わなければならない市町村に指定される。 栗原消防音楽隊が発足。
昭和47年 3月 4月	職員定数を86名に改める。 高清水町に南分遣所を設置。
昭和48年 3月 4月 12月	職員定数を98名に改める。 一迫町に西分遣所を設置。 築館消防署に救急車を1台増強し2台配備とする。化学車も配備する。
昭和49年 3月 4月 8月	職員定数を110名に改める。 金成町に北分遣所を設置。 鶯沢出張所を分署に昇格する。
昭和52年 1月 4月 5月 10月 11月	栗駒分署に救急車1台配備。 職員定数を118名に改める。 築館消防署に救助訓練塔を建設。 築館消防署にマイクロバス配備。 若柳分署に救急車1台を配備。
昭和53年 4月 7月 11月	職員定数を119名に改める。 築館消防署特別救助隊を設立。 築館消防署に救助工作車配備。
昭和54年 3月 4月 4月	栗原地区消防事務組合を解散。(3月31日) 栗原地域広域行政事務組合消防本部と築館消防署が発足。(4月1日) 職員定数を122名に改める。
昭和55年 3月	消防本部通信指令室を拡張し、通信指令装置を更新。
昭和58年 4月	隔日勤務者の勤務体制、4週5休制を採用。
昭和60年 4月	消防本部に防災無線ファクシミリを設置。
昭和62年10月	職員定数を125名に改める。
平成元年 3月	4週6休制を実施。
平成 5年 4月 10月	週休2日制の実施。総合防災情報システム端末設備の運用を開始。 職員定数を135名に改める。
平成 6年 1月 11月	鶯沢分署に救急車1台を配備。 築館消防署の救助工作車を更新(Ⅱ型)
平成10年 3月	鶯沢分署を移転。(3月5日) 栗原消防音楽隊活動を休止。(3月31日)

年 月	内 容
平成10年 4月	築館消防署の救急車1台を高規格救急車に更新。
平成11年 4月	栗原消防音楽隊を廃止。
平成12年10月	築館消防署の指令車を更新。
平成13年 2月	若柳分署の救急車を高規格救急車に更新。
平成14年 2月	職員定数を140名に改める。
平成15年12月	栗駒分署の救急車を高規格救急車に更新。
12月	若柳分署の消防ポンプ自動車を災害対応特殊ポンプ車に更新。
平成17年 3月	栗原地域広域行政事務組合を解散。(3月31日)
4月	栗原市消防本部並びに栗原市築館消防署が発足。(4月1日)
4月	消防本部総務課に消防団係を置き、人事教養係を廃止。
10月	総務部危機管理室へ消防団係が移管。消防庁舎建設着工。
平成18年 2月	築館消防署の2B型救急車を高規格救急車に更新。
3月	職員定数を165名に改める。
6月	高機能消防指令センター設備工事着工。
10月	消防庁舎移転。(仮使用)
平成19年 3月	高機能消防指令センター設備工事が完了し運用開始。
3月	鶯沢分署のBD-1型消防ポンプ自動車を改めCD-1型消防ポンプ自動車を配備。
4月	消防庁舎が竣工。
5月	消防庁舎内に併設した防災学習センターの運用を開始。
平成20年 3月	西分遣所のBD-1型消防ポンプ自動車を改めCD-1型消防ポンプ自動車を配備。
6月	6月14日午前8時43分頃、岩手・宮城内陸地震が発生。市内最大震度6強、マグニチュード7.2を観測。市北西部の栗駒・花山地区を中心に地滑りや土石流、山地崩落、住宅や道路が損壊し、死者9人、行方不明者8人、その他多数の負傷者が出た。 県広域消防相互応援協定により県内消防本部(局)に応援要請。(6月14～23日) 消防組織法により県知事に緊急消防援助隊の応援を要請。(6月14～19日)
10月	南出張所庁舎の建設を着工。
平成21年 3月	南出張所が竣工し、南分遣所を廃止。
4月	消防署の名称を栗原市栗原消防署に改め、南出張所の業務を開始。
4月	南出張所救急業務を開始。(栗原消防署配備の高規格救急車2台のうち1台を南出張所へ配備)
4月	総務部危機管理室から消防団係が消防本部総務課へ移管。
8月	東分署庁舎の建設を着工。
10月	若柳分署の高規格救急車を更新。
12月	栗原消防署の化学車を更新。
平成22年 2月	栗原消防署の指揮車を更新。東分署が竣工し、若柳分署を廃止。
3月	栗原消防署の救助工作車をⅢ型に更新。北分遣所を廃止。
4月	東分署業務を開始。栗原市消防団協力事業所表示証交付制度開始。
9月	西出張所庁舎の建設を着工。
平成23年 3月	3月11日午後2時46分頃、東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)が発生。栗原市は全国最大の震度7を記録。マグニチュードは9.0を観測。死者は全国で1万5千人を超えた。市内では、住宅や道路の損壊、液状化現象、各種ライフラインの寸断等の被害が出た。
3月	西出張所が竣工。
4月	西分遣所を廃止。
5月	西出張所業務開始。査察車1台、救急車1台を鶯沢分署から移転配備。
10月	北分署庁舎の建設を着工。
平成24年 1月	西出張所の救急車を高規格救急車に更新。
3月	北分署が竣工し、栗駒分署、鶯沢分署を廃止。
4月	北分署業務開始。
4月	消防本部総務課庶務係と消防団係を統合し総務係とする。
5月	防災学習センター利用者1万人達成。
平成25年 3月	栗原消防署の高規格救急車1台を更新。
3月	北分署の高規格救急車1台を更新。

年 月	内 容
平成26年 6月	消防救急無線デジタル化整備工事着工。
11月	消防本部総務課に防災活動車1台を配備。
平成27年 1月	南出張所の高規格救急車を更新。
3月	栗原消防署に水槽車1台を配備。
3月	消防救急無線デジタル化整備工事完了。
4月	消防救急無線デジタル化運用開始。
平成28年 3月	栗原消防署の資機材搬送車両（1.5 t 積載）を積載容量2.9 t 可能な車両に大型化し更新。
3月	東分署の水槽付消防ポンプ自動車（I-B型）を更新。
9月	栗原消防署に資機材搬送車両（軽搬送車）1台を配備。
12月	東分署の高規格救急車を更新。
平成29年 2月	北分署の水槽付消防ポンプ自動車（I-B型）を更新。
3月	栗原消防署の指令車を更新（1ボックスワゴン型）。
平成30年 3月	東分署の消防ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置付CD-1型）を更新。
6月	高機能消防指令センターの改修工事着工。
平成31年 1月	高機能消防指令センターの改修工事完了。
令和 3年 1月	栗原消防署の高規格救急車を更新。
2月	南出張所の消防ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置付CD-1型）を更新。
3月	高機能消防指令センターの指令装置（情報系）を更新。
11月	西出張所の消防ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置付CD-1型）を更新。
令和 4年 1月	栗原消防署の高規格救急車を更新。
11月	北分署の高規格救急車を更新。
令和 5年 1月	北分署の消防ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置付CD-1型）を更新。

4. 栗原市消防本部・消防署所所在地及び管轄区域

◆凡 例◆

- | | | | |
|---|----------|---|--------|
|  | 消防本部、消防署 |  | 分署、出張所 |
|  | 栗原消防署管内 |  | 東分署管内 |
|  | 北分署管内 |  | 南出張所管内 |
|  | 西出張所管内 | | |



周 囲 152km
 東 西 47km
 南 北 45km

消 防 機 関 所 在 地

名 称	所 在 地	電話番号	FAX 番号	郵便番号
栗原市消防本部	栗原市築館字留場中田 111 番地 1	(0228) 22-1191	(0228) 22-5870	987-2272
栗原消防署	栗原市築館字留場中田 111 番地 1	22-8511	22-8514	987-2272
東 分 署	栗原市若柳字福岡小谷町浦 157 番地 2	32-2621	32-2931	989-5505
北 分 署	栗原市栗駒中野田町西 44 番地 2	45-2109	45-2135	989-5351
南 出 張 所	栗原市瀨峰上富前 295 番地 2	59-2119	59-4119	989-4563
西 出 張 所	栗原市一迫字嶋躰反町 77 番地 2	54-2120	54-2136	987-2306

5. 管内地区別面積・人口・世帯数

令和5年3月31日現在

地区名	面積(k㎡)	人口(人)	世帯数	1k㎡当たり 人口密度(人)	1k㎡当たり 世帯密度(世帯)
築館	63.69	12,619 (101)	5,430 (70)	198.1	85.3
若柳	52.56	11,119 (72)	4,348 (45)	211.5	82.7
栗駒	244.36	9,640 (45)	3,793 (22)	39.4	15.5
高清水	23.45	3,390 (196)	1,360 (149)	144.6	58.0
一迫	87.58	6,506 (34)	2,480 (16)	74.3	28.3
瀬峰	29.28	4,002 (14)	1,534 (3)	136.7	52.4
鶯沢	37.23	2,021 (3)	805 (0)	54.3	21.6
金成	78.45	5,964 (36)	2,247 (25)	76.0	28.6
志波姫	30.88	6,518 (40)	2,410 (22)	211.1	78.0
花山	157.45	893 (9)	409 (2)	5.7	2.6
合計	804.93	62,672 (550)	24,816 (354)	77.9	30.8

※人口及び世帯数の下段()は外国人登録人数及び世帯数。

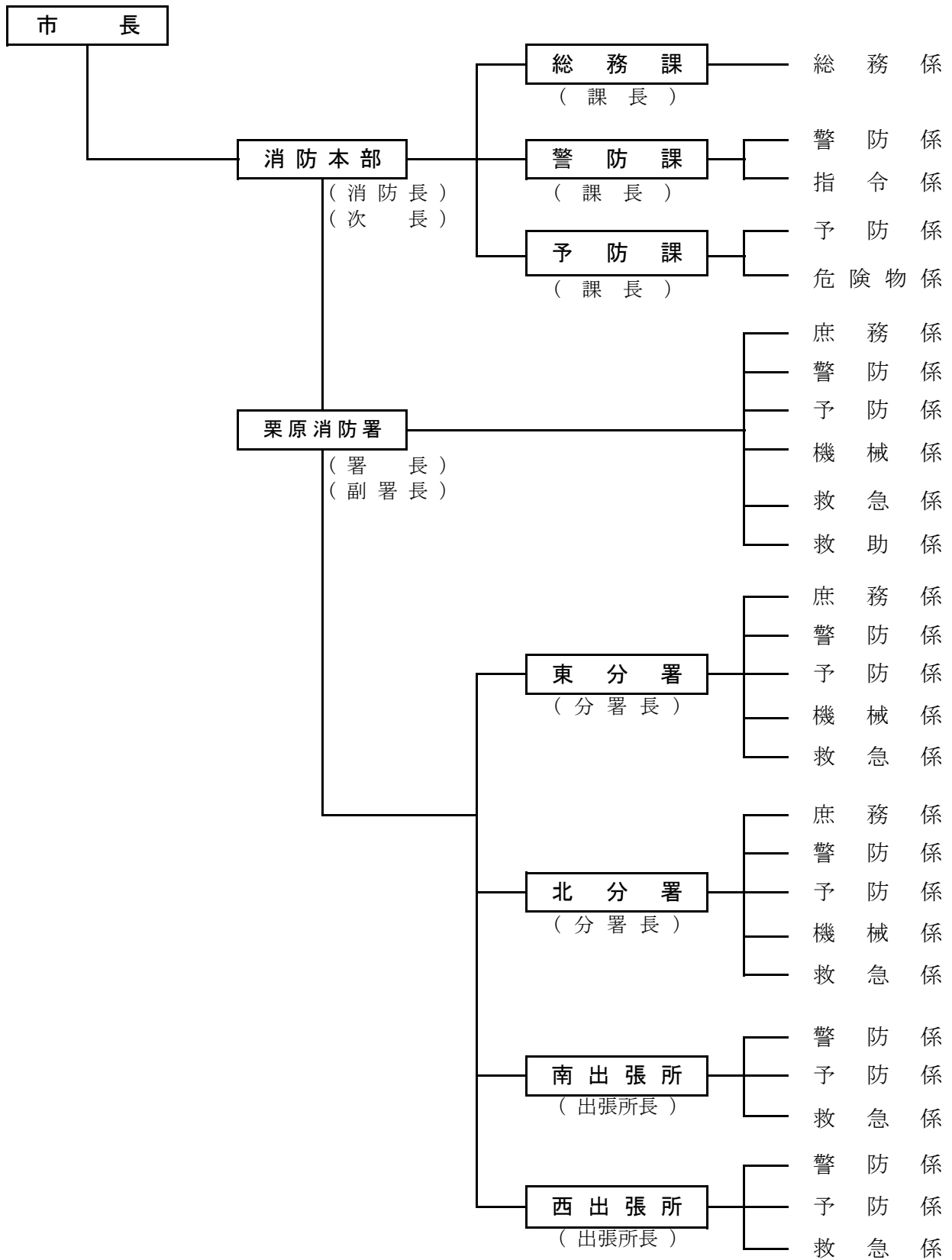
※平成28年10月に国土地理院から公表された栗原市の面積は804.97k㎡ですが、地区毎の面積が不明であることから、従前の面積を表記しております。

6. 令和5年度消防予算(当初予算)

区分	5年度当初予算 (千円)	4年度当初予算 (千円)	対前年度比		
			金額(千円)	割合(%)	
一般会計総額	42,723,000	42,223,000	500,000	101.2	
消 防 費	1,842,568	1,622,594	219,974	113.6	
対一般会計構成比(%)	4.3%	3.8%			
内 訳	1 常備消防費	1,223,200	1,201,118	22,082	101.8
	2 非常備消防費	193,880	194,856	△ 976	99.5
	3 消防施設費	71,947	129,497	△ 57,550	55.6
	4 水防費	19,985	9,009	10,976	221.8
	5 災害対策費	333,556	88,114	245,442	378.6

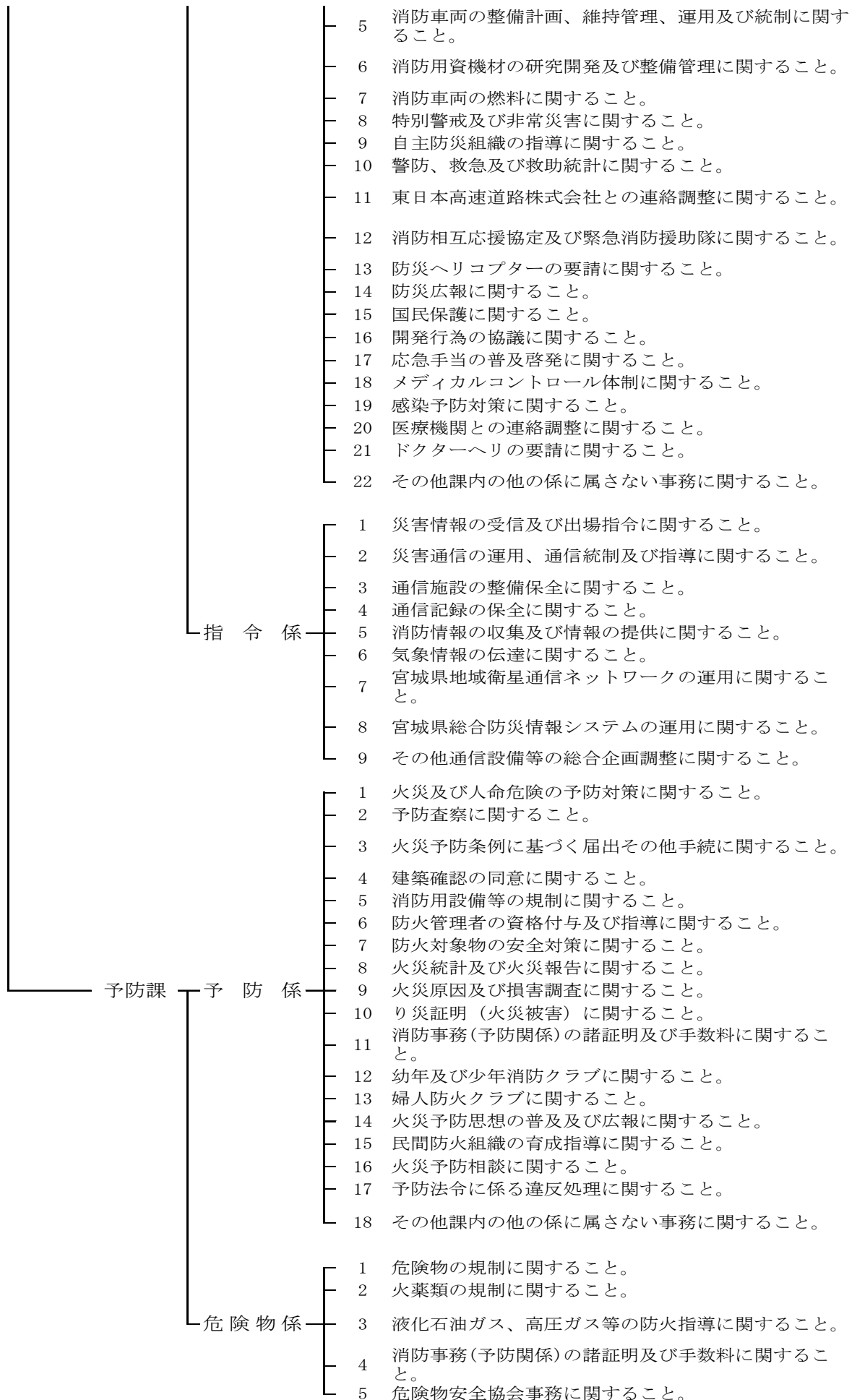
7. 消防の組織・機構(本部、署所)

令和5年4月1日現在

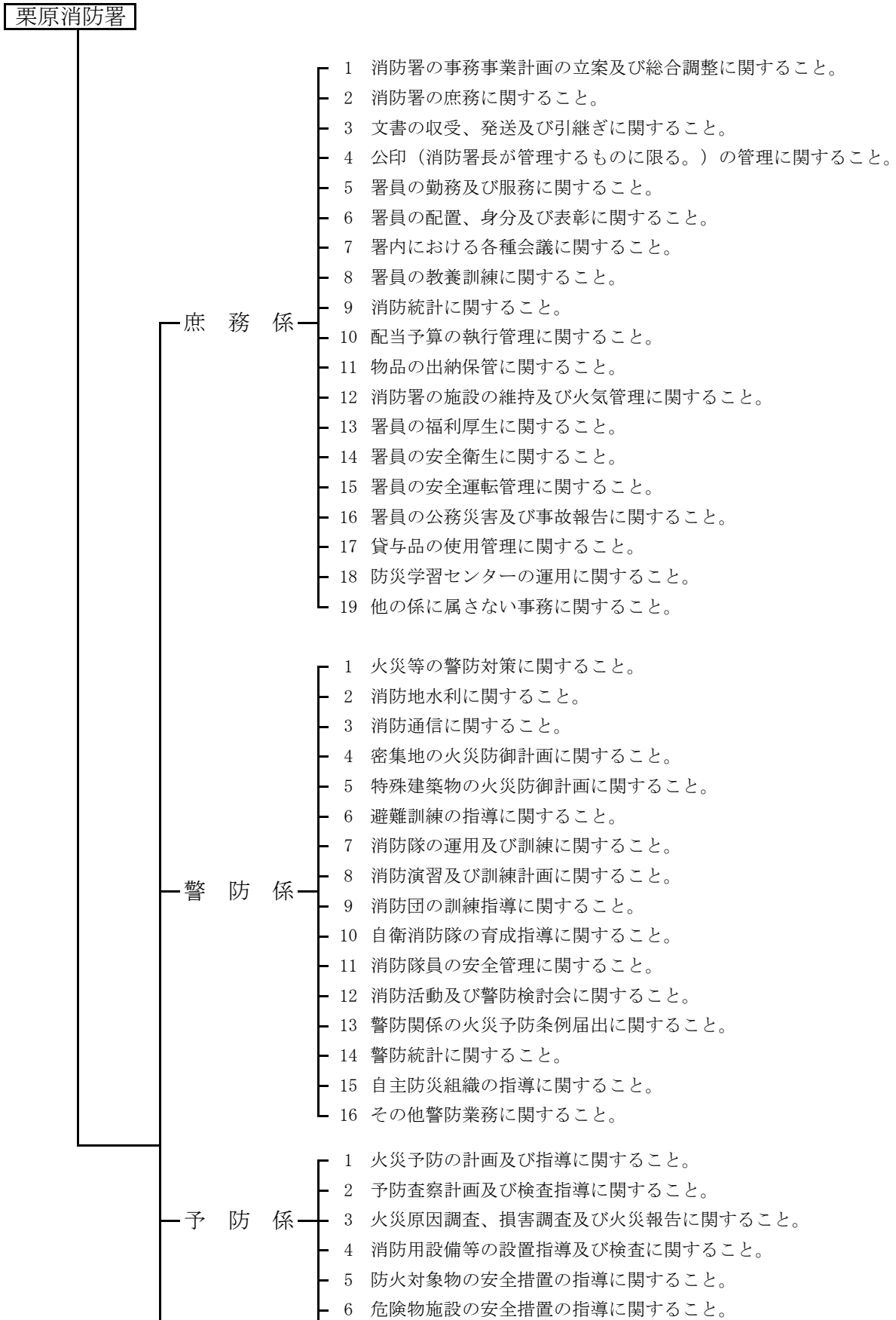


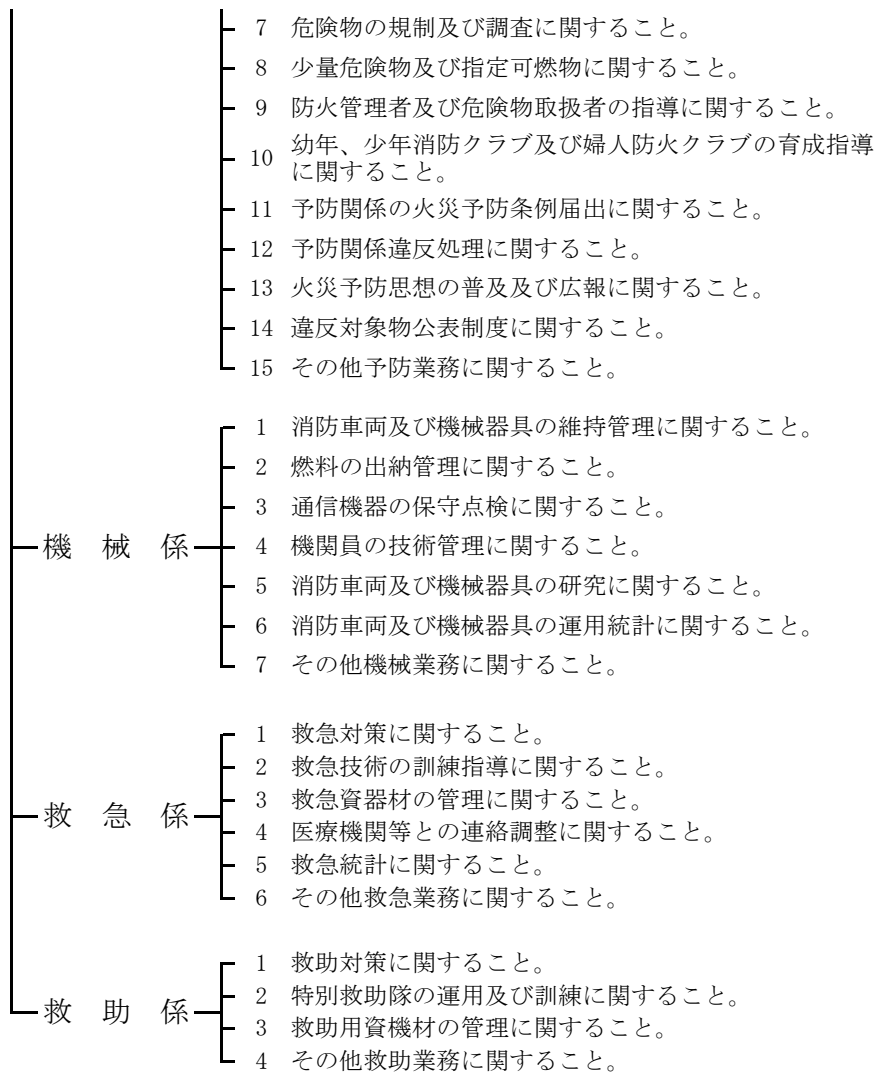
8. 消防本部事務分掌

消防本部	
総務課 — 総務係	1 事務の総合調整及び連絡調整に関する事。
	2 儀式、交際、行事及び会議に関する事。
	3 公印の保管に関する事。
	4 文書の收受、発送、編さん、保存及び廃棄に関する事。
	5 諸規程の立案及び制定手続きに関する事。
	6 消防庁舎、施設の管理運営に関する事。
	7 予算の編成、執行、決算及び経理に関する事。
	8 職員の給与及び手当に関する事。
	9 消防施設整備等総合調整に関する事。
	10 消防関係財産の維持管理に関する事。
	11 物品等の調達及び検収に関する事。
	12 貸与品に関する事。
	13 他機関との連絡調整に関する事。
	14 職場の安全、衛生及び防火管理に関する事。
	15 公務災害に関する事。
	16 職員の福利厚生に関する事。
	17 防災学習センターに関する事。
	18 消防行政広報に関する事。
	19 報道機関との連絡調整に関する事。
	20 消防長会及び消防協会に関する事。
	21 事務監察に関する事。
	22 消防の記録及び統計に関する事。
	23 職員の階級、任免、給与、分限、懲戒、服務及び賞罰その他身分に関する事。
	24 消防組織の管理及び職員の配置に関する事。
	25 職員の勤務時間及び勤務条件に関する事。
	26 勤務成績の評定に関する事。
	27 職員の研修及び資格取得に関する事。
	28 消防表彰に関する事。
	29 消防事務の諸証明及び手数料に関する事。
	30 消防団の組織に関する事。
	31 消防団員の任免、服務、表彰その他消防団員の身分に関する事。
	32 消防団員の公務災害補償に関する事。
	33 消防団員の衛生管理及び福利厚生に関する事。
	34 消防団員の貸与品に関する事。
	35 消防団の運用及び訓練等に関する事。
	36 消防団が使用する施設（消防水利を除く。）の整備計画及び維持管理に関する事。
	37 消防団が使用する車両の整備計画、維持管理に関する事。
	38 宮城県消防協会栗原地区支部の事務に関する事。
	39 その他消防団に関する事。
	40 消防相談に関する事。
	41 本部内の他の課に属さない事務に関する事。
警防課 — 警防係	1 水火災その他の災害の警防活動に関する事。
	2 水火災その他の災害の防御計画に関する事。
	3 消防隊の運用計画及び消防技術の訓練指導に関する事。
	4 消防施設（消防水利を含む。）の整備計画、維持管理、運用及び統制に関する事。



9. 栗原消防署事務分掌





10. 消防発足からの消防職員数

年 度	発足時	昭和 45	昭和 46	昭和 47	昭和 48	昭和 49	昭和 50	昭和 51	昭和 52	昭和 53	昭和 54	昭和 55	昭和 56
定 数	72	72	80	86	98	110	110	110	118	119	122	122	122
職員数	57	58	80	86	98	108	110	108	108	112	116	116	115
吏員数	57	58	80	86	98	108	108	106	106	109	115	115	114
その他							2	2	2	3	1	1	1
年 度	昭和 57	昭和 58	昭和 59	昭和 60	昭和 61	昭和 62	昭和 63	平成 元	平成 2	平成 3	平成 4	平成 5	平成 6
定 数	122	122	122	122	122	125	125	125	125	125	125	135	135
職員数	118	120	120	120	121	121	122	122	123	119	123	125	127
吏員数	117	119	119	119	120	120	121	121	122	118	122	124	126
その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
年 度	平成 7	平成 8	平成 9	平成 10	平成 11	平成 12	平成 13	平成 14	平成 15	平成 16	平成 17	平成 18	平成 19
定 数	135	135	135	135	135	135	135	140	140	140	140	165	165
職員数	128	130	131	131	134	135	135	135	135	140	140	142	150
吏員数	127	129	130	130	133	134	134	134	134	139	139	137	145
その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	5
年 度	平成 20	平成 21	平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2
定 数	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165
職員数	155	160	161	160	162	160	160	155	155	159	162	163	163
吏員数	151	156	157	156	158	156	157	153	154	158	160	161	161
その他	4	4	4	4	4	4	3	2	1	1	2	2	2
年 度	令和 3	令和 4	令和 5										
定 数	165	165	165										
職員数	161	162	161										
吏員数	159	160	159										
その他	2	2	2										

※発足時は、消防業務開始時点
 ※昭和45年から平成3年までは
 各年12月31日現在
 ※平成4年以降は、各年4月1日現在
 ※再任用職員は含まない

11. 消防職員定数・現員数及び配置状況

令和5年4月1日現在

階級別		計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員	再任用
課署別											
定数		165									
現員数		164	1	8	19	48	40	29	21	2	3
消防本部	消防長	1	1								
	次長	1		1							
	総務課	13		1	1	3	4		3	1	
	市長部局出向	2					2				
	県出向	2				1	1				
	初任総合教育	3							3		
	警防課	17		1	2	4	4	4		1	1
予防課	6		1	1	1	1	1			1	
栗原消防署		46		2	3	15	12	6	7		1
東分署		22		1	3	7	4	5	2		
北分署		22		1	3	7	4	5	2		
南出張所		18			3	5	4	4	2		
西出張所		18			3	5	4	4	2		



ねじりほんにょ
消防バージョン



ねじりほんにょ
制服バージョン

12. 消防職員階級別年齢

区分	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
18歳									
19歳	3							3	
20歳	4							4	
21歳	3							3	
22歳	4							4	
23歳	3							3	
24歳	1							1	
25歳	1						1		
26歳	7						7		
27歳	6						6		
28歳	11						11		
29歳	6					4	2		
30歳	8					6	2		
31歳	5					5			
32歳	5					5			
33歳	7					7			
34歳	10				5	5			
35歳	7				3	4			
36歳	12				10	1			1
37歳	5				5				
38歳	1				1				
39歳	6				6				
40歳	6				6				
41歳	3				3				
42歳									
43歳	4				4				
44歳	4				4				
45歳	3			3					
46歳									
47歳	5			4					1
48歳									
49歳	2			2					
50歳	3			3					
51歳									
52歳	3			3					
53歳	2		1	1					
54歳	1		1						
55歳	4		1	3					
56歳									
57歳									
58歳	3	1	2						
59歳	3		3						
合計	161	1	8	19	47	37	29	18	2
平均年齢	35.5	58.0	56.9	49.7	38.4	32.1	27.4	21.2	41.5

13. 消防職員勤続年数

区分	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
1年未満	3								3
1年	2								2
2年	5								5
3年	2								2
4年	4								4
5年	2								2
6年	4					1	3		
7年	4						4		
8年	5					1	4		
9年	13					2	10		1
10年	12					4	8		
11年	11				2	9			
12年	10				5	5			
13年	10				4	6			
14年	10				5	5			
15年	10				6	4			
16年	10				10				
17年									
18年									
19年	5				5				
20年	3				3				
21年	1				1				
22年									
23年	1				1				
24年	3				1	2			
25年	2				2				
26年	2				1	1			
27年	2				2				
28年	1								1
29年	3				3				
30年	2				2				
31年	3				3				
32年									
33年	2				2				
34年	2				2				
35年	2		1	1					
36年	2		1	1					
37年	2		1	1					
38年									
39年									
40年	3	1	2						
41年	3		3						
合計	161	1	8	19	47	37	29	18	2
平均年数	15.4	40.0	38.9	30.8	16.5	11.9	8.6	2.4	18.5

表12. 13は、令和5年4月1日現在

※消防吏員の勤続年数は、旧栗原地域広域行政事務組合事務部局及び栗原市の他部局への出向期間を含む期間である。
 ※事務職員の勤続年数は、消防本部出向前及び合併前の旧町村の期間を含む。

14. 消防職員技術資格取得状況

階 級 資格種別			消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
救 急 救 命 士				4	7	15	11	4		41
自 動 車 運 転 免 許	大 型 免 許	一 種	1	6	16	31	21	23	9	107
		二 種			3	1				4
	中 型 免 許		1	8	16	39	30	17		111
	準 中 型 免 許					1	19	37	13	70
	普 通 免 許	一 種							15	15
		二 種		1	4	6				11
	普 通 二 輪 免 許 (限定解除含む)		1		5	15	9	7	2	39
	大 型 特 殊 免 許 (一 種)			1	3	4	2		1	11
け ん 引 (一 種)			1		1				2	
陸 上 特 殊 無 線 技 士		1 級				5	4	2		11
		2 級		3	7	19	35	37	17	118
		3 級			1	25	4			30
消 防 設 備 士		乙 種 4 類			1	3	1	2		7
		乙 種 6 類			3	8	6	2	1	20
危 険 物 取 扱 者		乙 種 4 類		2	9	38	39	37	18	143
		丙 種	1	6	3	1	1	1		13
特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者				2		1				3
ボ イ ラ ー 技 師						2				2
小 型 船 舶 操 縦 士 (一級・二級〔湖川小出力限定含む〕)			1	1	7	7	6	3		25
ガ ス 溶 接 作 業 主 任 者					2	2	2	2	1	9
衛 生 管 理 者			1	2	1	2				6
毒 劇 物 取 扱 責 任 者						4				4
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者			1	2	6	9	8	8	3	37
高 圧 ガ ス 製 造 保 安 責 任 者				1	5	6	2			14
火 薬 類 取 扱 主 任 者						2				2
電 気 工 事 士 (一 種 ・ 二 種)						2	1			3
玉 掛 技 能 者			1	1	10	16	10	9	3	50
小 型 移 動 式 クレーン 運 転 技 能 資 格 者			1	1	10	13	9	10	2	46
足 場 の 組 立 等 作 業 主 任 者			1	1	6					8
予 防 技 術 検 定 (消 防 用 設 備 等)					1	2	2	1		6
予 防 技 術 検 定 (危 険 物)						6	2	7		15
予 防 技 術 検 定 (防 火 査 察)				1	2	21	30	22	1	77
テ ク ニ カ ル ロ ー プ レ ス キ ュ ー テ ク ニ シ ャ ン				1	3	9	6	2		21
ス イ フ ト ウ ォ ー タ ー レ ス キ ュ ー テ ク ニ シ ャ ン レ ベ ル 1 ク ラ ス					1	4	3	1		9

16. 消防応援協定

令和5年4月1日現在

協定の名称	協定年月日	協定団体・関係機関等	内 容
東北自動車道 消防相互応援協定	昭和53年11月27日	一関市、栗原市	東北自動車道における救急業務に関する相互応援協定について
広 域 消防相互応援協定	昭和59年 8月29日	湯沢市、栗原市	火災・救急業務及びその他の災害の応援協定について
東北自動車道宮城県 消防相互応援協定	昭和63年 7月 1日	仙台市、名取市、黒川地域行政事務組合、大崎地域広域行政事務組合、仙南地域広域行政事務組合、栗原市	東北自動車道における救急業務に関する相互応援協定について
宮城県広域消防 相互応援協定	平成31年 4月 1日	仙台市、名取市、亶理地区行政事務組合、石巻地区広域行政事務組合、塩釜地区消防事務組合、仙南地域広域行政事務組合、大崎地域広域行政事務組合、登米市、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合、黒川地域行政事務組合、栗原市	地震風水害、山林地域での林野火災・大災害、高層建築物の火災等大規模災害が発生した場合に相互に応援する協定
宮城県広域航空 消防相互応援協定	平成31年 4月 1日	宮城県、仙台市、名取市、亶理地区行政事務組合、石巻地区広域行政事務組合、塩釜地区消防事務組合、仙南地域広域行政事務組合、大崎地域広域行政事務組合、登米市、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合、黒川地域行政事務組合、栗原市	宮城県の所有する防災ヘリコプターの応援に関し必要な事項を定める協定
宮城県内航空 消防応援協定	平成31年 4月 1日	仙台市、名取市、石巻地区広域行政事務組合、塩釜地区消防事務組合、亶理地区行政事務組合、仙南地域広域行政事務組合、大崎地域広域行政事務組合、登米市、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合、黒川地域行政事務組合、栗原市	仙台市の所有する消防ヘリコプターの応援に関し必要な事項を定める協定
宮城県防災ヘリコプターを使用した大規模特殊災害時における広域航空消防応援に関する協定	平成16年 4月 1日	宮城県、仙台市、名取市、岩沼市、亶理地区行政事務組合、石巻地区広域行政事務組合、塩釜地区消防事務組合、仙南地域広域行政事務組合、大崎地域広域行政事務組合、登米市、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合、黒川地域行政事務組合、栗原市	宮城県に派遣されている職員の応援派遣に関する手続き等について定める協定
岩手・宮城県際市町 災害時相互応援協定	平成18年 7月 6日	一関市、平泉町、大船渡市、陸前高田市、住田町、気仙沼市、南三陸町、本吉町、登米市、栗原市	災害対策基本法第2条第1号に規定する災害及び火災、水害その他の災害
鉄道災害時における 鉄道事業者と消防機 関との連携に関する 協 定	平成21年12月25日	仙台市、名取市、岩沼市、登米市、石巻地区広域行政事務組合、塩釜地区消防事務組合、亶理地区行政事務組合、仙南地域広域行政事務組合、大崎地域広域行政事務組合、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合、栗原市	鉄道災害発生時における鉄道事業者と消防機関との、より迅速かつ効率的な消防活動及び安全管理体制の確保について定める協定

17. 栗原市消防団の消防力現勢

令和5年4月1日現在

地区団名	行政区	消防団			消防ポンプ 自動車台数	その他小型 動力ポンプ 台数
		分団数	班数	団員数(女性団員)		
本部				3 (0)		
築館	38	5	21	178 (22)	1	21 (19)
若柳	40	6	26	216 (4)	1	26 (25)
栗駒	50	7	18	176 (13)	1	28 (28)
高清水	13	5	9	76 (4)	1	9 (9)
一迫	33	6	30	252 (6)	1	30 (30)
瀬峰	17	5	13	113 (3)	1	12 (12)
鶯沢	8	4	7	63 (0)	1	6 (6)
金成	25	5	24	154 (1)	3	27 (23)
志波姫	17	4	11	127 (5)	1	9 (9)
花山	14	3	7	45 (12)	1	6 (6)
合計	255	50	166	1,403 (70)	12	174 (167)

※()内は小型動力消防ポンプ積載車数。

18. 栗原市消防団組織図

令和5年4月1日現在



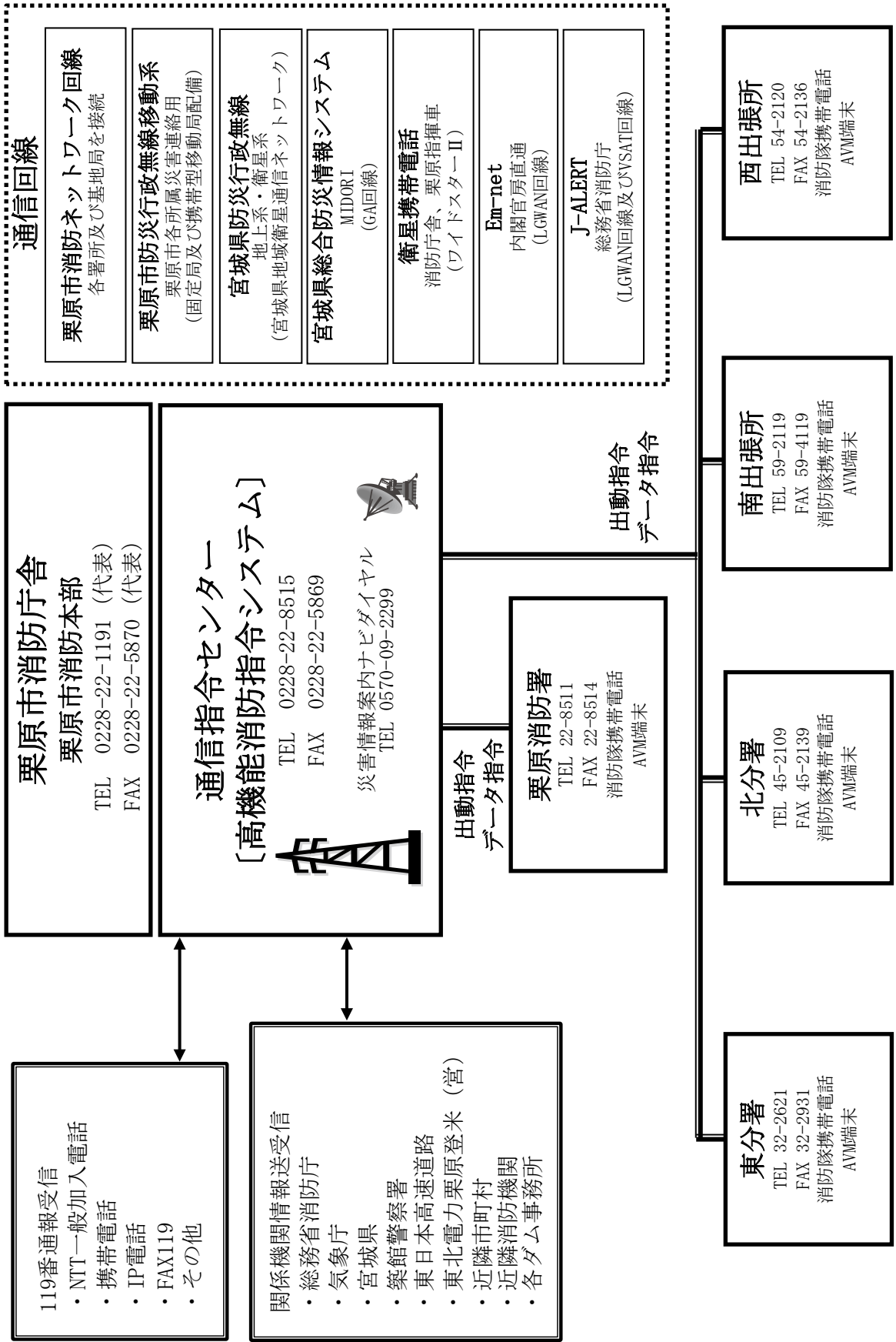
警 防

1. 栗原市消防本部通信系統図
2. 栗原市消防本部無線系統図
3. 気象観測状況
4. 消防車両等一覧表
5. 消防車両等配置状況
6. 消防資機材配置状況
7. 消防活動状況
8. 回線別 119 番受信件数
9. 災害情報案内利用状況
10. 臨時ヘリポート一覧
11. 緊急消防援助隊活動状況
12. 消防相互応援協定に基づく活動状況

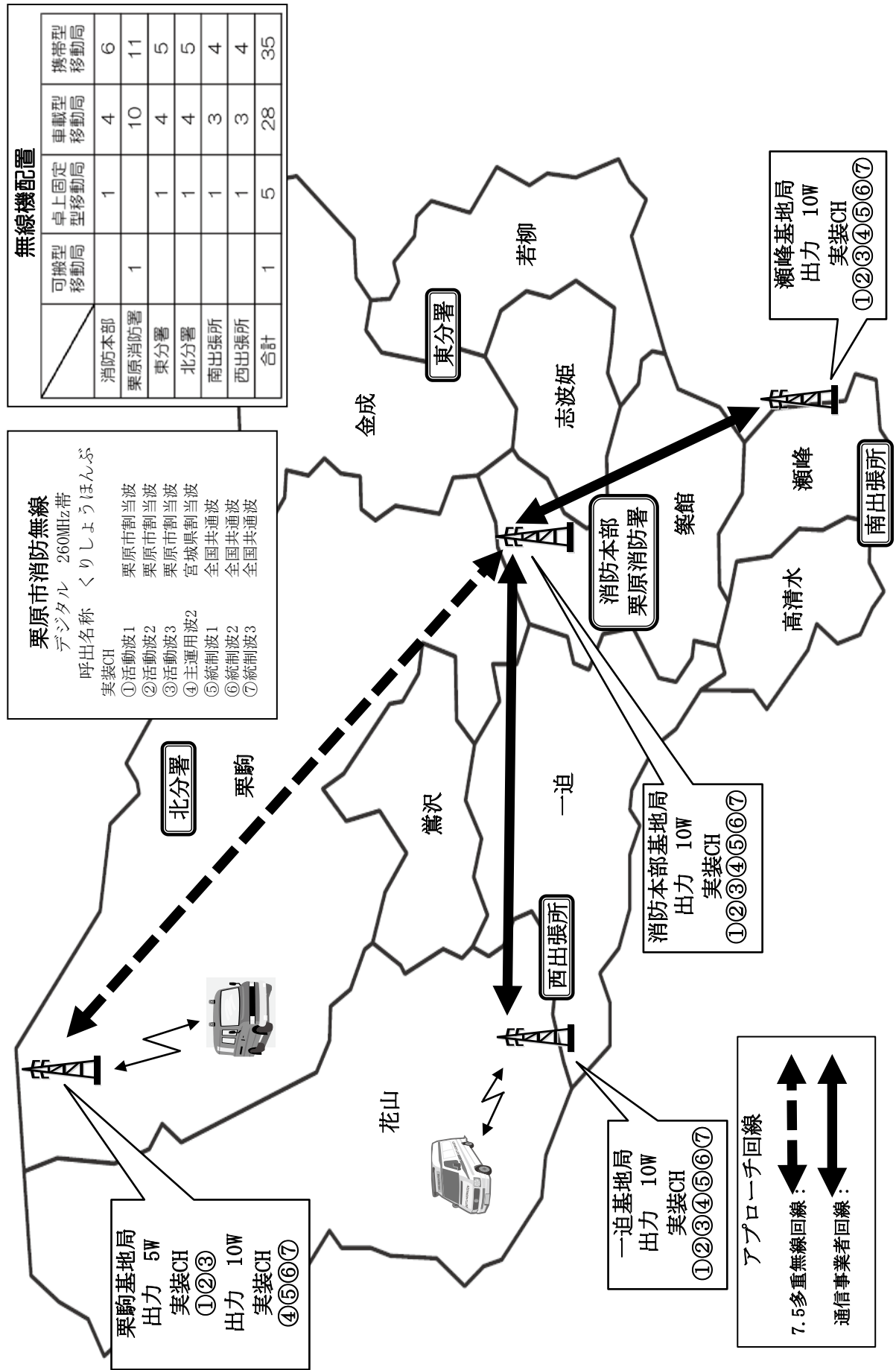


栗原市消防本部 通信指令センター

1. 栗原市消防本部通信系統図



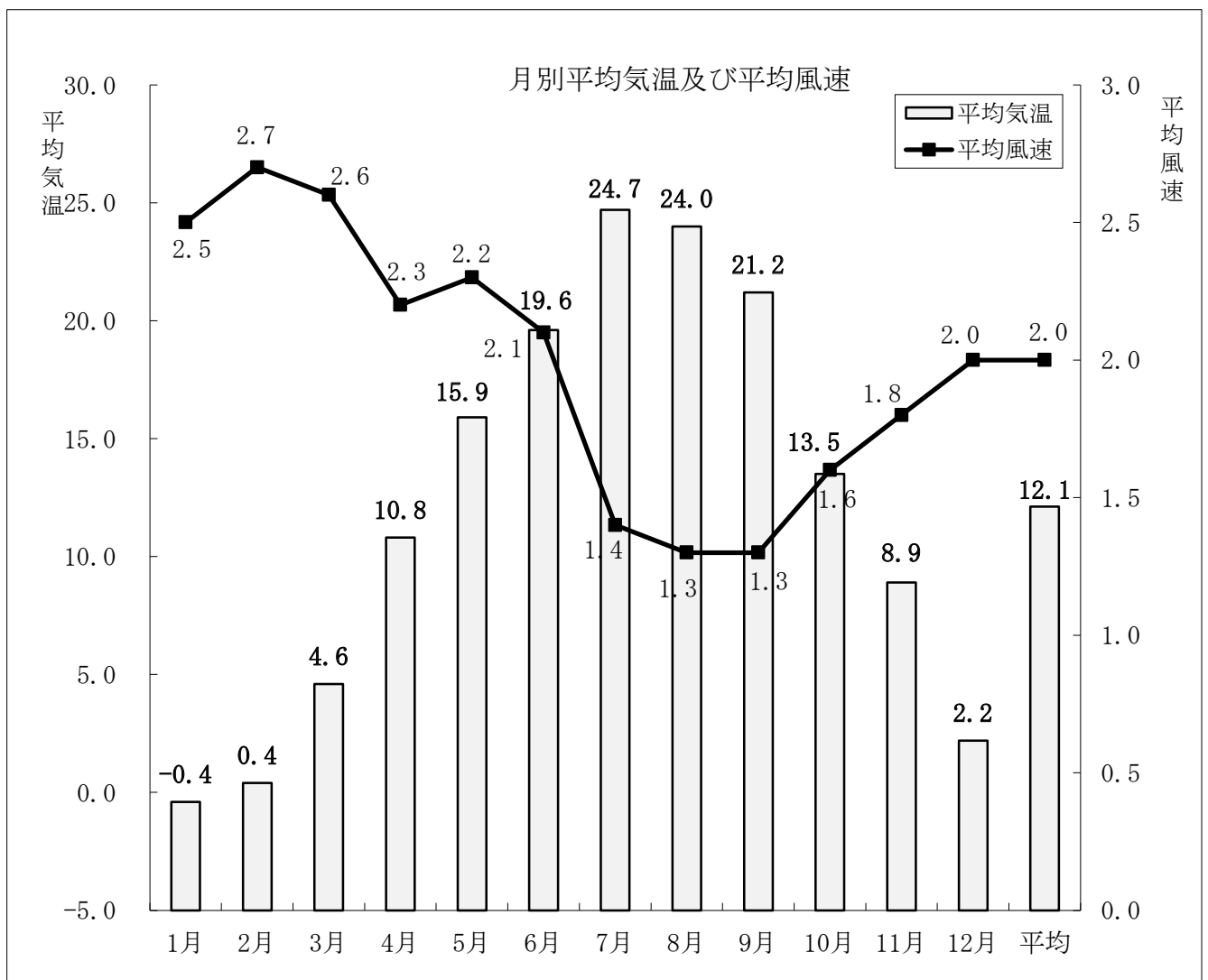
2. 栗原市消防本部無線系統図



3. 気象観測状況

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
最高気温 (°C)	7.6	10.4	20.0	28.5	27.3	34.0	36.4	35.0	30.1	27.2	21.5	10.4	
最低気温 (°C)	-10.5	-8.2	-5.4	-3.1	3.0	9.1	18.8	13.4	8.6	0.3	-2.4	-4.7	
平均気温 (°C)	-0.4	0.4	4.6	10.8	15.9	19.6	24.7	24.0	21.2	13.5	8.9	2.2	12.1
平均湿度 (%)	69.7	66.6	65.0	62.0	62.6	70.5	74.6	75.9	76.1	71.1	69.9	73.8	69.8
平均風速 (m/s)	2.5	2.7	2.6	2.2	2.3	2.1	1.4	1.3	1.3	1.6	1.8	2.0	2.0
降雨日数 (日)	7	9	11	9	7	15	13	17	10	7	7	9	10
降水量 (mm)	23.5	23.0	71.0	81.5	82.5	192.0	396.0	214.5	82.0	46.5	56.0	19.5	107.3

※消防本部警防課通信指令センター観測 (参考値)



4. 消防車両等一覧表

令和5年4月1日現在

所属	区分		車名	規格等	ポンプ部 メーカー・級別	取得年月	使用年月	備考
	車両呼称名							
栗原消防署	栗原指令車		トヨタ エスティマ	2,400cc		H29年3月	6年0カ月	ミニバン
	栗原指揮車		トヨタ ハイエース	2,700cc		H22年2月	13年2カ月	国臨時交付金
	栗原広報車		日産 ADバン	1,760cc		H20年11月	14年4カ月	ライトバン
	栗原搬送1号車		日野 デュトロ	2.9t積		H28年3月	7年1カ月	パワーゲート付
	栗原搬送2号車		三菱 ミニキャブ	660cc		H28年9月	6年7カ月	軽トラック
	栗原救助工作車		日野 レンジャー	Ⅲ型		H22年3月	13年1カ月	国臨時交付金
	栗原化学車		日野 レンジャー	泡化学 水槽1,500ℓ	モリタA-2級	H21年11月	13年5カ月	国臨時交付金
	栗原ポンプ1号車		日野 デュトロ	CD-1型	日機A-2級	H21年2月	14年1カ月	県補助
	栗原ポンプ2号車		日野 デュトロ	CD-1型	モリタA-2級	H20年2月	15年2カ月	県単補助
	栗原水槽車		日野 プロフィア	水Ⅱ型 水槽5,000ℓ	モリタA-2級	H27年3月	8年0カ月	CAFS 搭載
	栗原救急1号車		ニッサン パラメディック	高規格		R4年1月	1年2カ月	県単補助
	栗原救急2号車		ニッサン パラメディック	高規格		R3年1月	2年3カ月	国庫補助
東分署	東広報車		日産 エキスパート	1,800cc		H16年7月	18年9カ月	ライトバン
	東タンク車		日野 レンジャー	水Ⅰ-B型 水槽1,500ℓ	モリタA-2級	H28年3月	7年1カ月	国庫補助 CAFS 搭載
	東ポンプ車		日野 デュトロ	CD-1型 水槽600ℓ	モリタA-2級	H30年2月	5年1カ月	国庫補助 CAFS 搭載
	東救急車		トヨタ ハイメディック	高規格		H28年12月	6年4カ月	自主財源
北分署	北広報車		日産 エキスパート	1,800cc		H16年7月	18年9カ月	ライトバン
	北タンク車		日野 レンジャー	水Ⅰ-B型 水槽1,500ℓ	モリタA-2級	H29年1月	6年3カ月	国庫補助 CAFS 搭載
	北ポンプ車		日野 デュトロ	CD-1型 水槽600ℓ	モリタA-2級	R5年1月	0年3カ月	国庫補助 CAFS 搭載
	北救急車		トヨタ ハイメディック	高規格		R4年11月	0年5カ月	自主財源
南出張所	南広報車		日産 エキスパート	1,800cc		H16年7月	18年9カ月	ライトバン
	南ポンプ車		日野 デュトロ	CD-1型 水槽600ℓ	モリタA-2級	R3年2月	2年2カ月	県単補助 CAFS 搭載
	南救急車		トヨタ ハイメディック	高規格		H27年1月	8年2カ月	寄贈 一関信用金庫
西出張所	西広報車		日産 エキスパート	1,600cc		H23年3月	12年0カ月	ライトバン
	西ポンプ車		日野 デュトロ	CD-1型 水槽600ℓ	モリタA-2級	R3年11月	1年4カ月	県単補助 CAFS 搭載
	西救急車		トヨタ ハイメディック	高規格		H24年1月	11年2カ月	国庫補助
総務課	事務連絡車		スズキ エブリイ	660cc		H21年12月	13年4カ月	軽ワゴン
	防災活動車		三菱 テリカ	2,350cc		H26年11月	8年4カ月	寄贈 日本消防協会
警防課	防災指導車		スズキ エブリイ	660cc		R2年6月	2年10カ月	軽ワゴン
予防課	検調査車		スズキ スイフト	1,300cc		H14年11月	20年5カ月	ハッチバック
	防火広報車		トヨタ ハイエース	2,000cc		H8年7月	26年9カ月	寄贈 日本防火協会

5. 消防車両等配置状況

令和5年4月1日現在

車両別 署所別	指 令 車	指 揮 車	広 報 車	化 学 消 防 車	救 助 工 作 車	水 槽 付 消 防 車	普 通 消 防 車	高 規 格 救 急 自 動 車	そ の 他	合 計
栗原消防署	1	1	1	1	1	1	2	2	2	12
東分署			1			1	1	1		4
北分署			1			1	1	1		4
南出張所			1				1	1		3
西出張所			1				1	1		3
消防本部									5	5
合計	1	1	5	1	1	3	6	6	7	31

※その他の車両内訳

栗原消防署：栗原搬送1号車、栗原搬送2号車

消防本部：検調査車、防火広報車、防災指導車
防災活動車、事務連絡車

※栗原消防署の高規格救急自動車2台のうち、1台は非常用車両として配置している。

6. 消防資機材配置状況

令和5年4月1日現在

品名		署所別		消防本部	栗原消防署	東分署	北分署	南出張所	西出張所	合計
空気呼吸器	(プレッシャーデマンド)			27	6	6	3	3		45
	(デマンド)			9						9
レスクマスク				7	1	2	1	1		12
軽量空気ポンベ (6.8ℓ型)				45	12	4	6			67
軽量空気ポンベ (8.4ℓ型)				7						7
軽量空気ポンベ (4.7ℓ型)				12		8			6	26
酸素呼吸器				10						10
酸素ポンベ (4ℓ型)				3						3
酸素ポンベ (1.5ℓ型)										
酸素ポンベ (1.8ℓ型)				10						10
アセチレンポンベ (3ℓ型)										
油圧カッター				8 (ペダルカッターを含む)						8
携帯用発電機		1		7	3	2	2	2		17
エンジンカッター				3	2	2	2	2		11
チェーンソー				5	3	3	1	1		13
緩降機				2						2
救命索発射銃				2						2
溶断器				1						1
削岩機				3						3
バスケット型担架				3		1				4
油圧式救助器具				9						9
可搬式ウィンチ				2						2
空気式救助マット				2						2
救命ボート				3						3
耐熱・化学防護服				19						19
エアツール				3						3
携帯マイク				6	3	2	1	1		13
マット型空気ジャッキ				2						2
救助用ワイヤーはしご				2						2
オイルフェンス (20m)				1						1
エアテント				4						4
有害ガス検知器				5	1	1	1			8
サルベージシート				3						3
背負式水のう				11	6	7	5	6		35
可搬式小型動力ポンプ				6	1	1	1	1		10
ホース	(65mm)			126	73	90	50	46		385
	(50mm)			139	62	86	24	32		343

7. 消防活動状況

種別	地区別	築	若	栗	高	一	瀬	鶯	金	志	花	管	計
		館	柳	駒	清水	迫	峰	沢	成	波	山	外	
火 災	回数	8	4	3	2	1	5		2	1	1		27
	人員	185	78	66	46	27	103		32	30	27		594
救 助	回数	4	4		1	1	2		1	1	2		16
	人員	52	57		15	10	24		13	14	30		215
怪 煙 警 戒	回数		1	1		1	2		1				6
	人員		3	3		3	5		3				17
火 災 警 報 器 鳴 動	回数	2	3	1	1	1		1	4	2			15
	人員	7	9	3	2	2		3	12	6			44
漏 油 警 戒	回数	5	7	7	2	1	2	4	5	4			37
	人員	17	29	21	7	2	4	13	15	12			120
危 険 物 漏 洩 警 戒	回数												
	人員												
ガ ス 漏 れ 警 戒	回数												
	人員												
自 然 災 害 警 戒	回数												
	人員												
河 川 増 水 警 戒	回数												
	人員												
暴 風 豪 雨 警 戒	回数												
	人員												
障 害 物 除 去	回数												
	人員												
高 速 道 支 援	回数	2											2
	人員	6											6
救 急 支 援	回数	5	5	9	3	9	7	2	9	3	3		55
	人員	18	15	27	7	21	16	5	28	9	8		154
安 全 管 理 活 動	回数	5	6	9	5	3			4				32
	人員	17	18	27	13	9			12				96
遭 難 捜 索	回数												
	人員												
そ の 他	回数	3	1	1	1								6
	人員	41	15	3	6								65
非 火 災	回数		2	1	1								4
	人員		46	23	15								84
合 計	回数	34	33	32	16	17	18	7	26	11	6		200
	人員	343	270	173	111	74	152	21	115	71	65		1,395
広 報 ・ 指 導 等	回数	203	116	111	182	129	141	48	60	100	48		1,138
	人員	629	351	334	374	247	305	145	178	333	94		2,990
警 防 調 査	回数	23	62	58	32	71	29	16	30	10	21		352
	人員	72	123	131	54	102	48	37	54	29	33		683

8. 回線別119番受信件数

月 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
		N T T 固 定	火災			1								
救急	105		79	105	78	99	99	106	87	107	88	93	98	1,144
救助														
上記以外の災害	5			2	1	3	1	1	2	1		1	1	18
いたずら							1							1
間違い通報	2			3	5	4	4	20	1	10	3	10	1	63
その他	1			1		2		1	1					6
小計	113		79	112	84	108	105	128	91	118	91	104	101	1,234
I P 電 話 等	火災			1	2	1								4
	救急	78	88	98	67	77	75	113	106	83	90	101	112	1,088
	救助				1						1			2
	上記以外の災害	2	1	1		2		5	2			2	4	19
	いたずら	1												1
	間違い通報	2	1	1	1	4		1		1		1	2	14
	その他													
	小計	83	90	101	71	84	75	119	108	84	91	100	132	1,138
携 帯 電 話 ・ P H S	火災			2	2	3	1	2		1	2	1	1	15
	救急	92	65	72	70	93	87	90	96	92	104	102	104	1,067
	救助	1		1	1			3		2			1	9
	上記以外の災害	2	4	5	6	4	5	4	5	6	9	4	5	59
	いたずら									2				2
	間違い通報	10	4	2	10	3	6	9	7	3	5	5	3	67
	その他	2		1	1			1						5
	小計	107	73	83	90	103	99	109	108	106	120	112	114	1,224
区 分 別 計	火災			4	4	4	1	2		1	2	1	2	21
	救急	275	232	275	215	269	261	309	289	282	282	296	314	3,299
	救助	1		1	2			3		2	1		1	11
	上記以外の災害	9	5	8	7	9	6	10	9	7	9	7	10	96
	いたずら	1					1			2				4
	間違い通報	14	5	6	16	11	10	30	8	14	8	16	6	144
	その他	3		2	1	2		2	1					11
	合計	303	242	296	245	295	279	356	307	308	302	320	333	3,586

9. 災害情報案内利用状況

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
利用数	312	203	561	441	578	399	448	168	276	299	304	301	4,290

10. 臨時ヘリポート一覧

令和5年4月1日現在

1 許可済臨時ヘリポート

地区	所在地及び施設等名称	所有者 (管理者)	連絡先
栗 駒	栗原市栗駒鳥沢山下54-38 栗駒救急ヘリポート	栗原市長	0228-22-1122

2 臨時ヘリポート（着陸許可申請をしていないもの）

地区	所在地及び施設等名称	所有者 (管理者)	連絡先
築 館	栗原市築館字荒田沢41-24 築館総合運動公園陸上競技場	栗原市長	0228-22-1122
	栗原市築館字下宮野町浦22 築館高校グラウンド	学校長	0228-22-3126
若 柳	栗原市若柳字川南道伝前125-2 若柳野球場	栗原市長	0228-22-1122
	栗原市若柳武鎗生江沢 太平洋工業若柳工場	トヨタ自動車 東日本（株）	022-765-6183
栗 駒	栗原市栗駒岩ヶ崎裏山221 サン・スポーツランド栗駒陸上競技場	栗原市長	0228-22-1122
	栗原市栗駒沼倉耕英東95-2 くりこま荘駐車場	くりこま荘	0228-46-2036
	栗原市栗駒沼倉いわかがみ平地内 いわかがみ平駐車場	宮城県知事	022-211-2354
	栗原市栗駒沼倉耕英東50-1 ハイルザーム栗駒駐車場	ハイルザーム栗駒	0228-43-4100
高清水	栗原市高清水忽滑沢29-1 高清水野球場	栗原市長	0228-22-1122
一 迫	栗原市一迫柳目字曾根新土手根地内 一迫中央公園運動場	栗原市長	0228-22-1122
瀬 峰	栗原市瀬峰大境山24-16 瀬峰総合運動場	栗原市長	0228-22-1122
	栗原市瀬峰小深沢232-1 瀬峰飛行場	ブルーギア(株) 瀬峰第2工場	0228-38-4011
鶯 沢	栗原市鶯沢南郷柳沢2-3 細倉マインパーク駐車場	栗原市長	0228-22-1122
金 成	栗原市金成大平13-37 金成健康広場	栗原市長	0228-22-1122
志波姫	栗原市志波姫新沼崎地内 志波姫小学校前駐車場	栗原市長	0228-22-1116
花 山	栗原市花山字本沢稲千場2-1 花山青少年旅行村グラウンド	栗原市長	0228-22-1122

11. 緊急消防援助隊活動状況

登録状況

令和5年4月1日現在

登録隊	所属	車両
消 火 小 隊	東 分 署	消 防 ポ ン プ 自 動 車
		消 防 ポ ン プ 自 動 車
	北 分 署	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車
救 助 小 隊	栗 原 消 防 署	救 助 工 作 車
救 急 小 隊		高 規 格 救 急 車
後 方 支 援 小 隊		資 機 材 搬 送 車

活動状況（令和元年台風19号被害に伴う宮城県丸森町への派遣）



12. 消防相互応援協定に基づく活動状況

派遣状況

災害の内容	派遣先	延べ隊数	延べ人数
令和元年台風19号	丸 森 町	10	40
令和2年岩沼市倉庫火災	岩 沼 市	3	12
令和3年東北自動車道多重衝突事故	東北自動車道（大崎市）	2	7

活動状況（令和2年岩沼市倉庫火災及び令和3年東北自動車道多重衝突事故への派遣）



火 災

1. 火災発生状況及び損害額（月別）
2. 火災発生状況及び損害額（地区別）
3. 火災件数、損害額及び焼損面積（地区別月別）
4. 火災発生状況（主な出火原因別）
5. 火災発生状況（出火時間帯別）
6. 火災発生状況（気象別）
7. 火災出場状況（月別）
8. 火災出場状況（署所別）
9. 火災件数（年別）
10. 過去5年間の火災件数（火元建物用途別）
11. 過去3年間の火災発生状況
12. 過去3年間における火災件数（月別）
13. 過去3年間の主な出火原因



警防訓練の様子



2. 火災発生状況及び損害額（地区別）

令和4年1月1日～令和4年12月31日

区分 地区	火災件数				焼損面積			損害額(千円)						焼損棟数			り災世帯			り災人員(人)		死傷者				
	計	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	建物焼損床面積(m ²)	建物焼損表面積(m ²)	林野焼損面積(a)	計	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	火元棟			延焼棟			全損	半損	小損	死者(人)	負傷者(人)		
														全焼	半焼	部分焼	全焼	半焼	部分焼						ぼや	部分焼
築館	8	4	1	3	3	1,059	96	3	61,561	61,561				3	1	6	4	3	4	3	2	3	27	1	1	
若柳	4	1	1	2		177			5,898	5,778	120				1			1					3			
栗駒	3	1	1	1	11	338	51	11	3,175	2,334	832	9		1		1			2							
高清水	2	1	1	1		3	9		472	320		152							1				1	1	1	
一迫	1	1				90		10	1,910	1,910				1		1					1			2	1	
瀬峰	5	2	1	2		365	76		58,271	58,255	16			2		2			5		2		1	5	1	
鶯沢																										
金成	2	1		1		81			43	6		37		1										1		
志波姫	1	1				141	3		27,168	27,168				1					1					3		
花山	1	1				91			2,469	2,469				1		2					1			1	1	
合計	27	13	3	1	10	2,345	235	24	160,967	159,801	848	198		11	1	12	4	12	4	9	2	5	42	3	3	

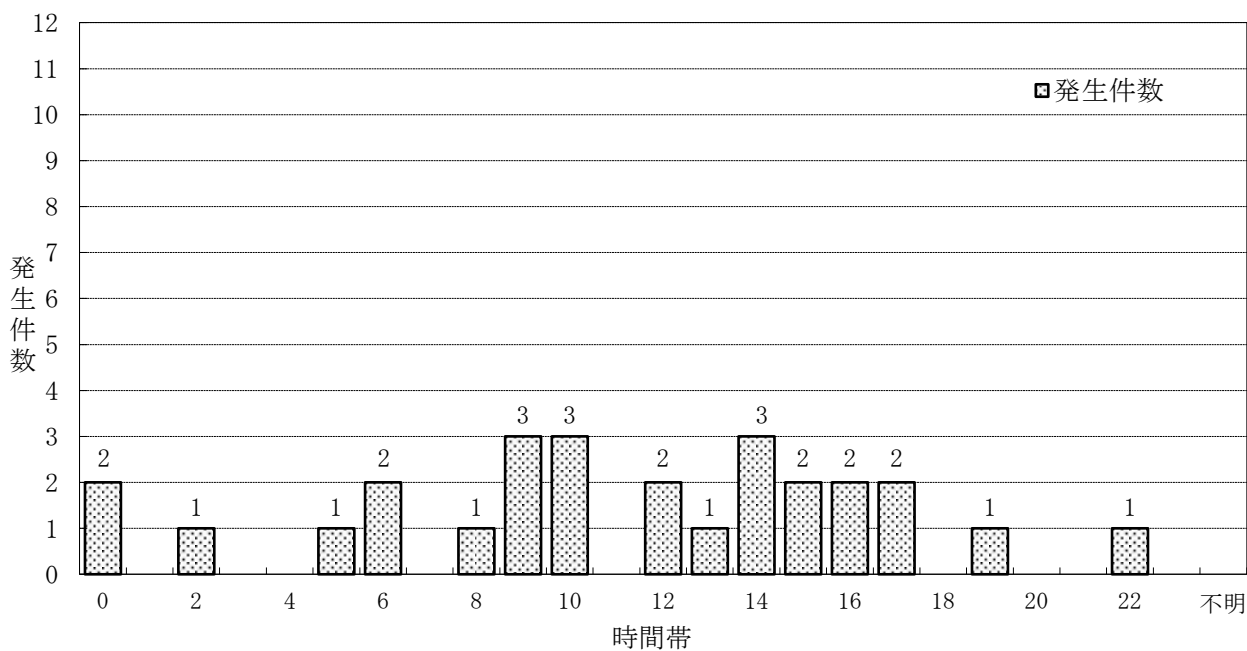
3. 火災件数、損害額及び焼損面積（地区別月別）

月	地区	築館	若柳	栗駒	高清水	一迫	瀬峰	鶯沢	金成	志波姫	花山	合計
1月	火災件数											
	損害額(千円)											
	建築物焼損床面積(m ²)											
	建築物焼損表面積(m ²)											
2月	火災件数											
	損害額(千円)											
	建築物焼損床面積(m ²)											
	建築物焼損表面積(m ²)											
3月	火災件数	2	1	1		1	1					6
	損害額(千円)			9		1,910	16					1,935
	建築物焼損床面積(m ²)					90						90
	建築物焼損表面積(m ²)											
4月	火災件数			2		10			1		1	13
	損害額(千円)			3,166					37		2,469	5,672
	建築物焼損床面積(m ²)			338							91	429
	建築物焼損表面積(m ²)			51								51
5月	火災件数	1	2	11			1		1			11
	損害額(千円)	56,627	120						6			56,753
	建築物焼損床面積(m ²)	790							81			871
	建築物焼損表面積(m ²)	30										30
6月	火災件数		1		1							2
	損害額(千円)		5,778		320							6,098
	建築物焼損床面積(m ²)				3							180
	建築物焼損表面積(m ²)		177		9							186
7月	火災件数	1					1					2
	損害額(千円)	2,016					52,064					54,080
	建築物焼損床面積(m ²)						220					301
	建築物焼損表面積(m ²)						34					98
8月	火災件数											
	損害額(千円)											
	建築物焼損床面積(m ²)											
	建築物焼損表面積(m ²)											
9月	火災件数									1		1
	損害額(千円)									27,168		27,168
	建築物焼損床面積(m ²)									141		141
	建築物焼損表面積(m ²)									3		3
10月	火災件数				1							2
	損害額(千円)				152							152
	建築物焼損床面積(m ²)											
	建築物焼損表面積(m ²)											
11月	火災件数	1										1
	損害額(千円)	93										93
	建築物焼損床面積(m ²)											
	建築物焼損表面積(m ²)											
12月	火災件数	1					1					2
	損害額(千円)	2,825					6,191					9,016
	建築物焼損床面積(m ²)	188					145					333
	建築物焼損表面積(m ²)	1					42					43
合計	火災件数	8	4	3	2	1	5		2	1	1	27
	損害額(千円)	61,561	5,898	3,175	472	1,910	58,271		43	27,168	2,469	160,967
	建築物焼損床面積(m ²)	1,059	177	338	3	90	365		81	141	91	2,345
	建築物焼損表面積(m ²)	96		51	9		76			3		235
		3		11		10						24

4. 火災発生状況（主な出火原因別）

出火原因	件数	発火源	経過	着火物
たき火	7 件	・たき火	・火源が動いて接触する ・火の粉が散る遠くへ飛散する ・残り火の処置が不十分	・枯草 ・落葉 ・ごみ類
放火・放火の疑い	5 件	・その他 ・不明	・放火 ・放火の疑い	・枯草 ・落葉 ・わら
枯草焼き	2 件	・枯草焼き	・火源が動いて接触する ・残り火の処置が不十分	・枯草
風呂かまど等	2 件	・風呂かまど ・風呂かまど（石油風呂釜）	・容器から火種がこぼれる ・その他（空焚き）	・支持木材 ・まき、たきつけ
ストーブ等 ロウソク	2 件	・石油 ・ガソリンストーブ（開放式） ・ロウソク	・火源が動いて接触する ・輻射を受けて発火する	・仏壇 ・座ぶとん

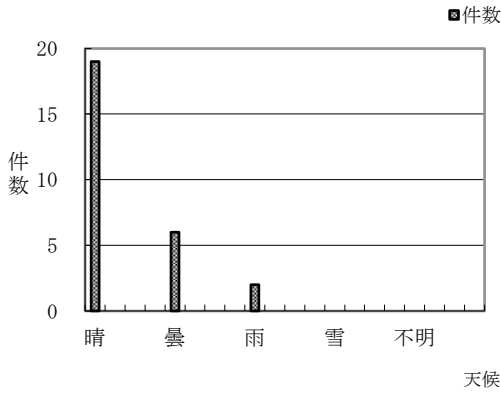
5. 火災発生状況（出火時間帯別）



時間帯(時)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明	
発生件数	2	1	0	0	0	2	1	0	1	3	3	0	2	1	3	2	2	2	0	1	0	0	0	1	0	0

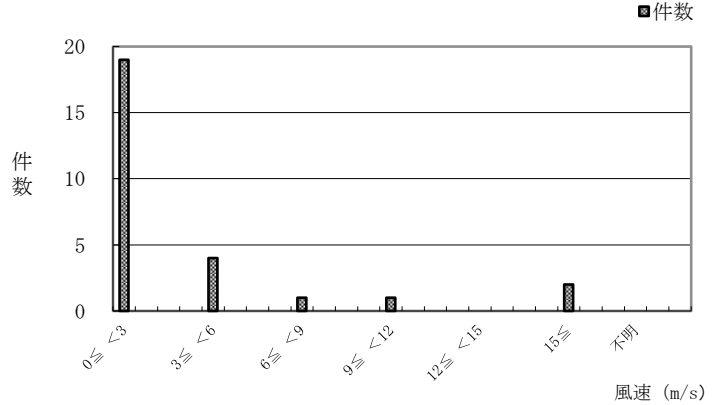
6. 火災発生状況（気象別）

(1) 天候別



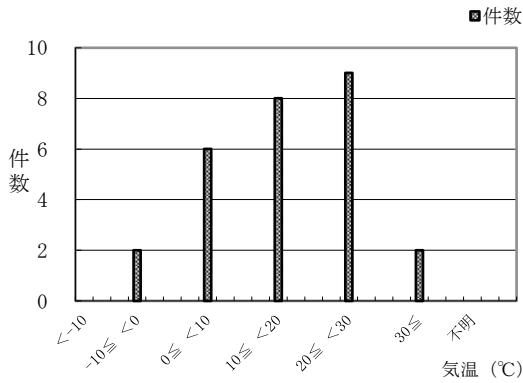
	晴	曇	雨	雪	不明
件数	19	6	2		

(2) 風速別



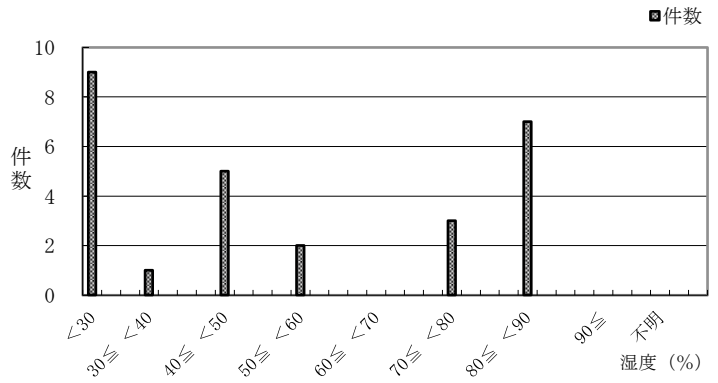
	0 ≤ < 3	3 ≤ < 6	6 ≤ < 9	9 ≤ < 12	12 ≤ < 15	15 ≤	不明
件数	19	4	1	1		2	

(3) 気温別



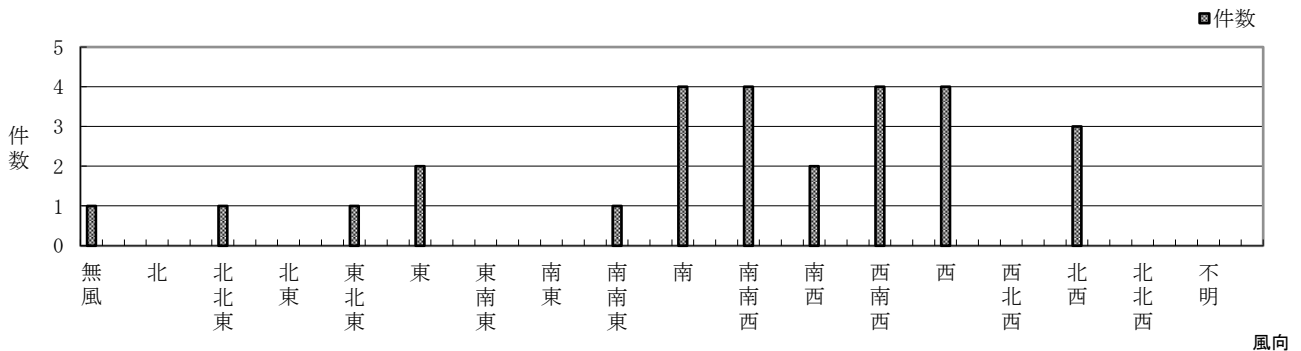
	< -10	-10 ≤ < 0	0 ≤ < 10	10 ≤ < 20	20 ≤ < 30	30 ≤	不明
件数		2	6	8	9	2	

(4) 湿度別



	< 30	30 ≤ < 40	40 ≤ < 50	50 ≤ < 60	60 ≤ < 70	70 ≤ < 80	80 ≤ < 90	90 ≤	不明
件数	9	1	5	2		3	7		

(5) 風向別



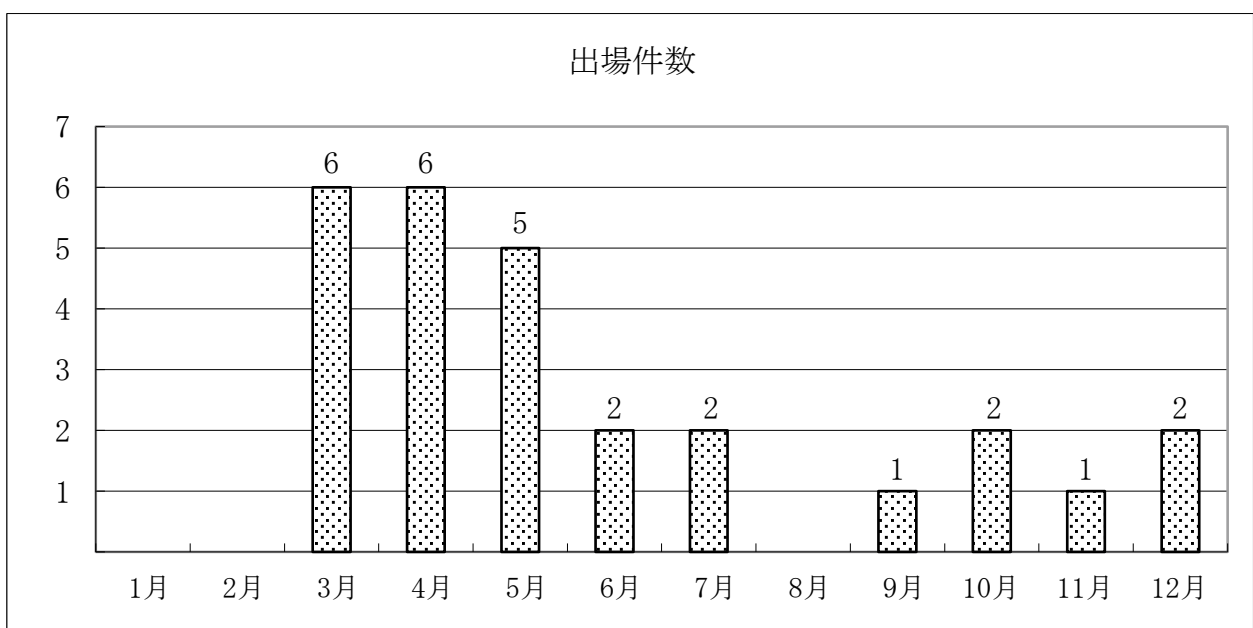
	無風	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	不明
件数	1		1		1	2			1	4	4	2	4	4		3		

※不明については、出火日時が特定できないもの。
 なお、このデータは消防本部通信指令センターで観測したもの。

7. 火災出場状況（月別）

区分 月	火災件数	出場件数	出場車両数(台)			出場吏員数 (人)
			ポンプ車	指揮車等	救急車	
1月						
2月						
3月	6	6	24	10	1	107
4月	6	6	20	13	1	97
5月	5	5	21	13	3	105
6月	2	2	10	6	2	52
7月	2	2	10	10	2	70
8月						
9月	1	1	6	4	1	29
10月	2	2	8	3		38
11月	1	1	4	2	1	21
12月	2	2	10	5	1	46
合計	27	27	113	66	12	565

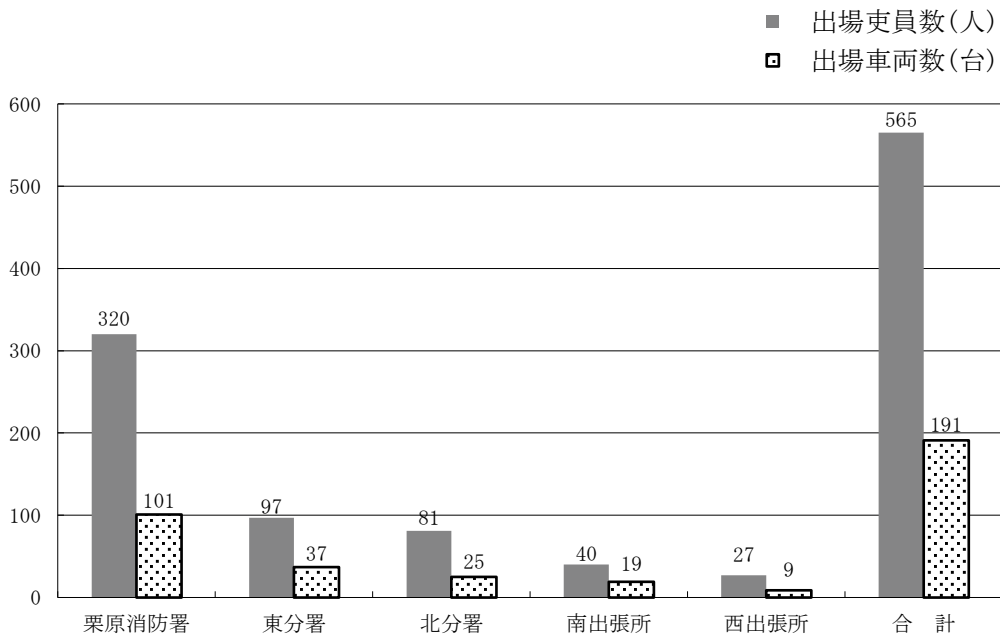
※出場吏員数は現場参集者を除く。



8. 火災出場状況（署所別）

区分 \ 署所	栗原消防署	東分署	北分署	南出張所	西出張所	合計
出場火災件数	25	22	17	12	6	82
出場吏員数(人)	320	97	81	40	27	565
出場車両数(台)	101	37	25	19	9	191
ポンプ車(台)	49	28	18	13	5	113
指揮車等(台)	47	6	4	6	3	66
救急車(台)	5	3	3		1	12

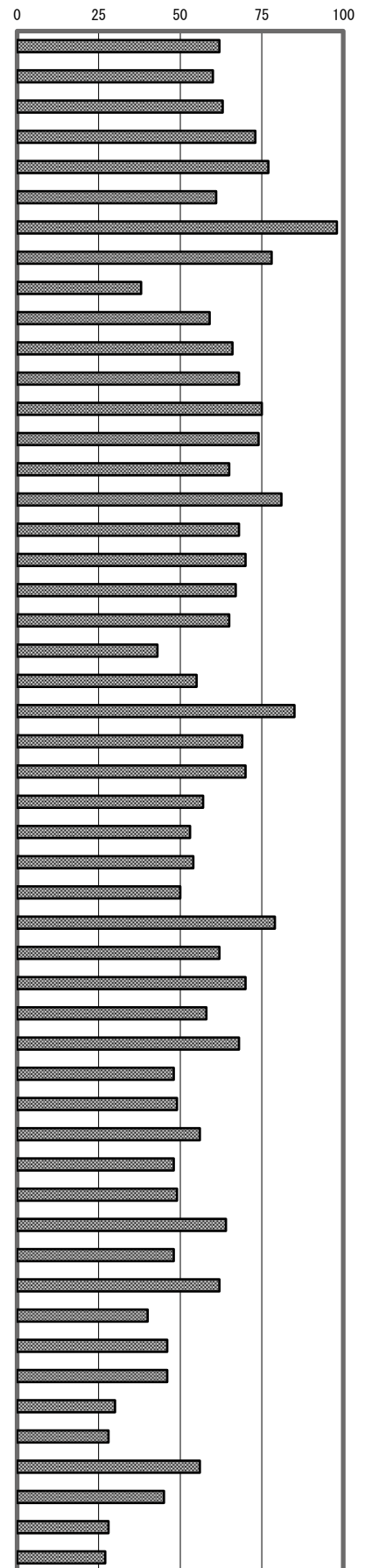
※出場吏員数は現場参集者を除く。



区分 \ 署所	栗原消防署	東分署	北分署	南出張所	西出張所	合計
出場吏員数(人)	320	97	81	40	27	565
出場車両数(台)	101	37	25	19	9	191

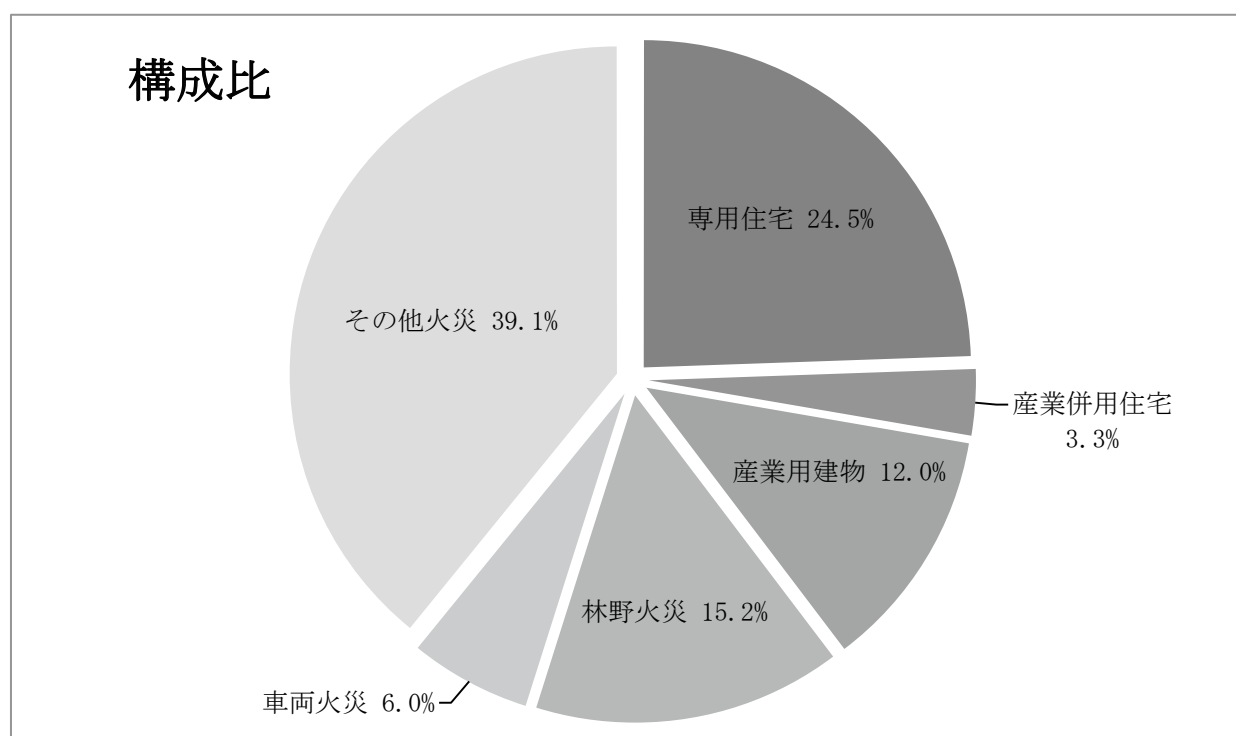
9. 火災件数 (年別)

地区 年	築 館	若 柳	栗 駒	高 清水	一 迫	瀬 峰	鶯 沢	金 成	志 波 姫	花 山	計
昭和47年	16	13	7	3	10	4	2	2	2	3	62
昭和48年	9	8	12	2	6	3	5	9	5	1	60
昭和49年	11	13	9	2	8	2	3	10	3	2	63
昭和50年	14	14	13	6	7	1	4	6	7	1	73
昭和51年	18	11	12	10	4	5	5	7	3	2	77
昭和52年	5	19	10	2	7	5	2	4	6	1	61
昭和53年	15	15	19	5	8	7	8	7	10	4	98
昭和54年	16	8	13	5	9	8	4	5	8	2	78
昭和55年	7	4	9	3	9	1	1	3		1	38
昭和56年	13	11	11	2	9	4	1	5	3		59
昭和57年	9	9	11	3	12	1	7	6	8		66
昭和58年	16	9	10	3	8	2	5	9	6		68
昭和59年	13	11	11	3	7	7	3	8	11	1	75
昭和60年	15	14	8	7	9	7	3	8	2	1	74
昭和61年	13	10	14	5	9	3	1	7	2	1	65
昭和62年	12	13	13	3	12	3		16	6	3	81
昭和63年	18	6	11	4	8	2	2	8	8	1	68
平成元年	17	11	12	1	11	2	7	6	1	2	70
平成 2年	8	10	7	3	12	2	14	6	5		67
平成 3年	12	9	8	8	9	2	6	7	4		65
平成 4年	8	7	5	4	8	1	2	4	4		43
平成 5年	9	9	10	5	5	7	2	6	1	1	55
平成 6年	16	8	16	5	11	5	5	10	6	3	85
平成 7年	12	11	8	4	11	4	6	7	4	2	69
平成 8年	16	12	13	4	9	2	1	8	5		70
平成 9年	9	11	11	4	6	2	2	10	2		57
平成10年	9	11	11	4	3	1		8	6		53
平成11年	11	10	8	3	4	3	4	6	4	1	54
平成12年	5	10	9	4	4	2	1	13	2		50
平成13年	12	11	13	6	7	5	6	7	10	2	79
平成14年	10	6	10	6	8	2	3	5	11	1	62
平成15年	9	13	12	4	14	7		7	4		70
平成16年	13	6	8		13	6	3	5	4		58
平成17年	16	12	13	4	8	6	2	4	2	1	68
平成18年	8	13	9	6	2	2		5	3		48
平成19年	9	12	9	6	2	4	2	3	2		49
平成20年	8	11	10	4	7	4	3	4	4	1	56
平成21年	5	12	1	2	10	4		9	2	3	48
平成22年	4	10	9	3	4	3	1	11	2	2	49
平成23年	18	13	10	3	5	2	3	6	4		64
平成24年	14	7	5	1	4	6	1	4	3	3	48
平成25年	8	10	7	10	5	4	6	5	7		62
平成26年	9	5	7	3	3	3	1	4	5		40
平成27年	11	2	7	6	5	3	1	5	4	2	46
平成28年	6	7	10	5	4	5	1	4	2	2	46
平成29年	6	5	2	6	5	2		1	2	1	30
平成30年	5	2	6	1	5	5	2	1	1		28
令和元年	13	8	9	4	5	4	5	3	5		56
令和 2年	9	7	4	3	9	5	2	4	1	1	45
令和 3年	6	5	6	2	1	1	1	3	3		28
令和 4年	8	4	3	2	1	5		2	1	1	27
計	559	488	481	204	362	186	149	313	216	53	3,011



10. 過去5年間の火災件数（火元建物用途別）

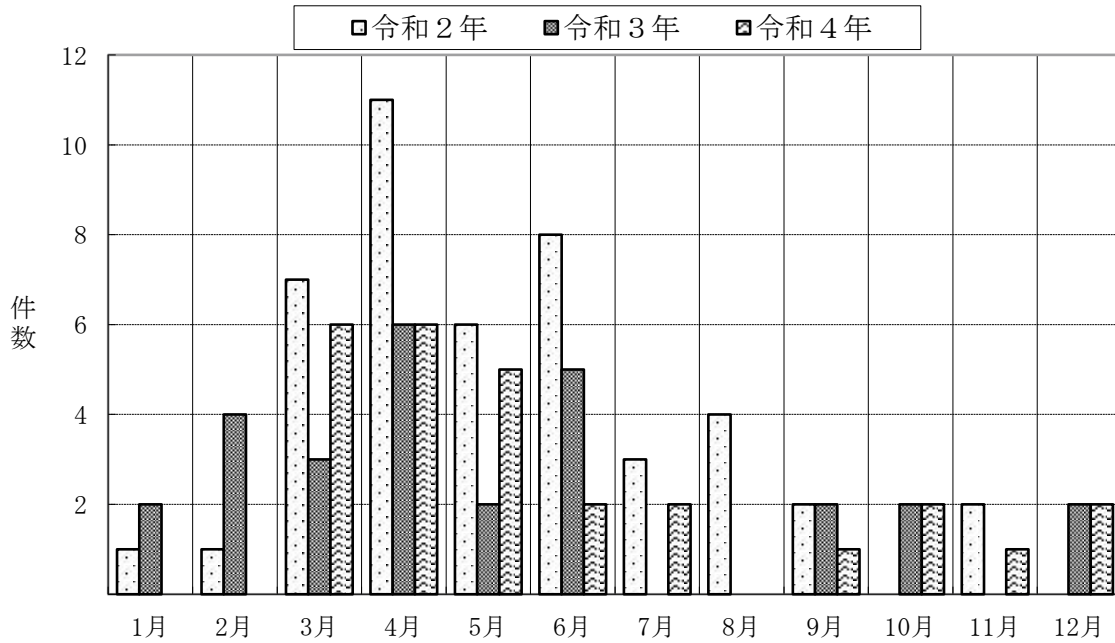
区分		年	H30年	R1年	2年	3年	4年	計	構成比	
建物火災	専用住宅		7	7	8	10	13	45	24.5%	
	産業併用住宅	農林水産業			1				1	
		工業			1				1	
		商業	1	1	1	1			4	
		サービス								
		その他								
		計		1	3	1	1		6	3.3%
	産業用建物	農林水産業					1		1	
		工業			1	1	1		3	
		商業								
		サービス	1	3			1		5	
		その他			11	2			13	
計			1	15	3	3		22	12.0%	
小計		9	25	12	14	13	73	39.7%		
林野火災			1	12	8	4	3	28	15.2%	
車両火災			3	4	2	1	1	11	6.0%	
その他火災			15	15	23	9	10	72	39.1%	
合計			28	56	45	28	27	184	100.0%	



11. 過去3年間の火災発生状況

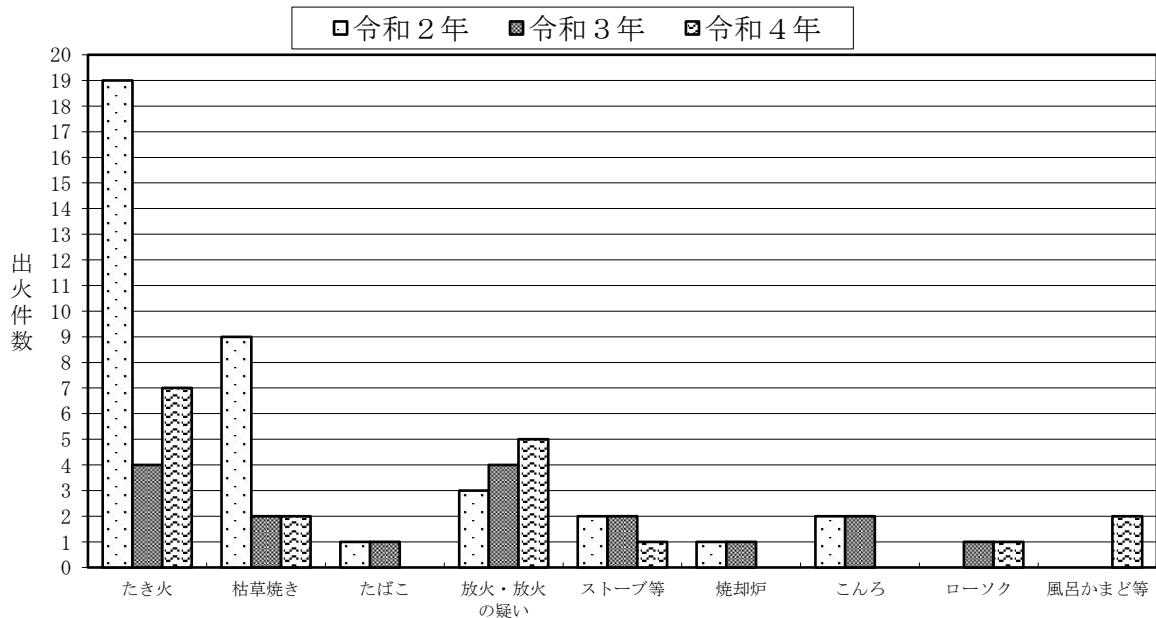
区分 年	火災件数				焼損面積			損害額(千円)					焼損棟数						り災世帯		死傷者				
	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	建物焼損床面積(m ²)	建物焼損表面積(m ²)	林野焼損面積(a)	計	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	火元棟	延焼棟	全損	半損	小損	り災人員(人)	死者(人)	負傷者(人)					
令和2年	45	8	2	23	2,402	142	12	102,559	101,685	342	163	369	6	1	3	1	9	6	2	3	1	5	20	1	12
令和3年	28	4	1	9	1,025	16	20	54,070	53,281	90	90	5	2	7	4	5	6	26	5	8					
令和4年	27	3	1	10	2,345	235	24	160,967	159,801	848	120	198	11	1	1	12	4	42	3	3					
3年間の平均	33	5	1	14	1,924	131	19	105,865	104,922	427	124	392	7	1	2	3	8	1	29	3	8				

12. 過去3年間における火災件数（月別）



年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和2年	1	1	7	11	6	8	3	4	2		2		45
令和3年	2	4	3	6	2	5			2	2		2	28
令和4年			6	6	5	2	2		1	2	1	2	27

13. 過去3年間の主な出火原因



年 \ 原因	たき火	枯草焼き	たばこ	放火・放火の疑い	ストーブ等	焼却炉	こんろ	ローソク	風呂かまど等
令和2年	19	9	1	3	2	1	2		
令和3年	4	2	1	4	2	1	2	1	
令和4年	7	2		5	1			1	2

救 急 ・ 救 助

《救 急》

1. 事故種別救急出場状況
2. 月別救急出場状況
3. 曜日別救急出場状況
4. 時間別救急出場状況
5. 地区別救急出場状況
6. 署所別救急出場状況
7. 性別・年齢別搬送状況
8. 傷病程度別搬送状況
9. 収容所要時間状況
10. 不搬送件数及び事由
11. 救急隊員の行った応急処置件数
12. 事故種別・医療機関別搬送人員
13. 東北自動車道管轄区域
14. 東北自動車道への救急出場状況
15. 年別救急出場状況及び搬送人員
16. 過去 10 年間の事故種別救急出場状況
17. 救急講習実施状況



雪山搜索救助訓練

《救 助》

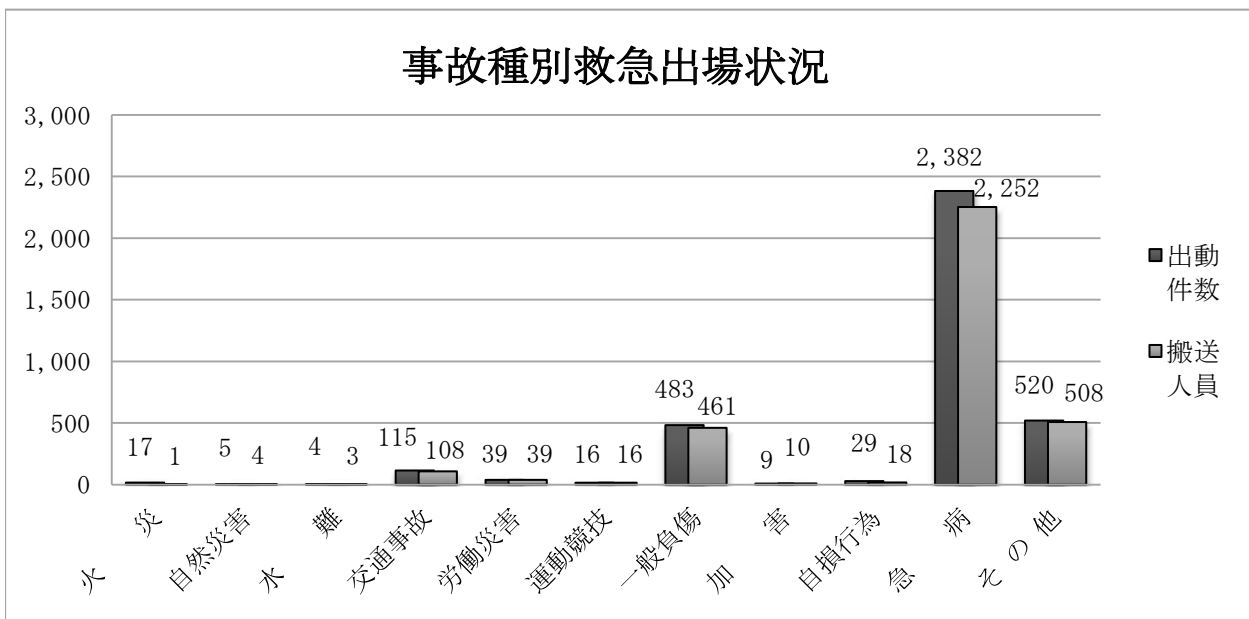
18. 救助活動実施状況
19. 救助隊使用資機材等保有状況



多数傷病者事故対応訓練
(令和4年度栗原市総合防災訓練)

1. 事故種別救急出場状況

事故種別	内 容	区 分		
		出動 件数	不搬送 件 数	搬送 人員
火 災	火災現場において直接火災に起因して生じた事故	17	16	1
自然災害	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他異常な自然現象に起因する事故	5	1	4
水 難	水泳中の溺者又は水中転落による事故	4	1	3
交通事故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故もしくは交通機関が歩行者と接触したことなどによる事故	115	14	108
労働災害	各種工場、事業場、作業所、工事現場等において就業中発生した事故	39		39
運動競技	運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者・審判員及び関係者の事故	16		16
一般負傷	他に分類されない不慮の事故	483	22	461
加 害	故意に他人によって傷害等を加えられた事故	9		10
自損行為	故意に自分自身に傷害等を加えた事故	29	11	18
急 病	疾病によるもの	2,382	131	2,252
そ の 他	転院搬送、医師搬送、資機材搬送、その他のもの（上記の種別に分類不能のもの、誤報、いたづら等で不明なもの）	520	12	508
合 計		3,619	208	3,420

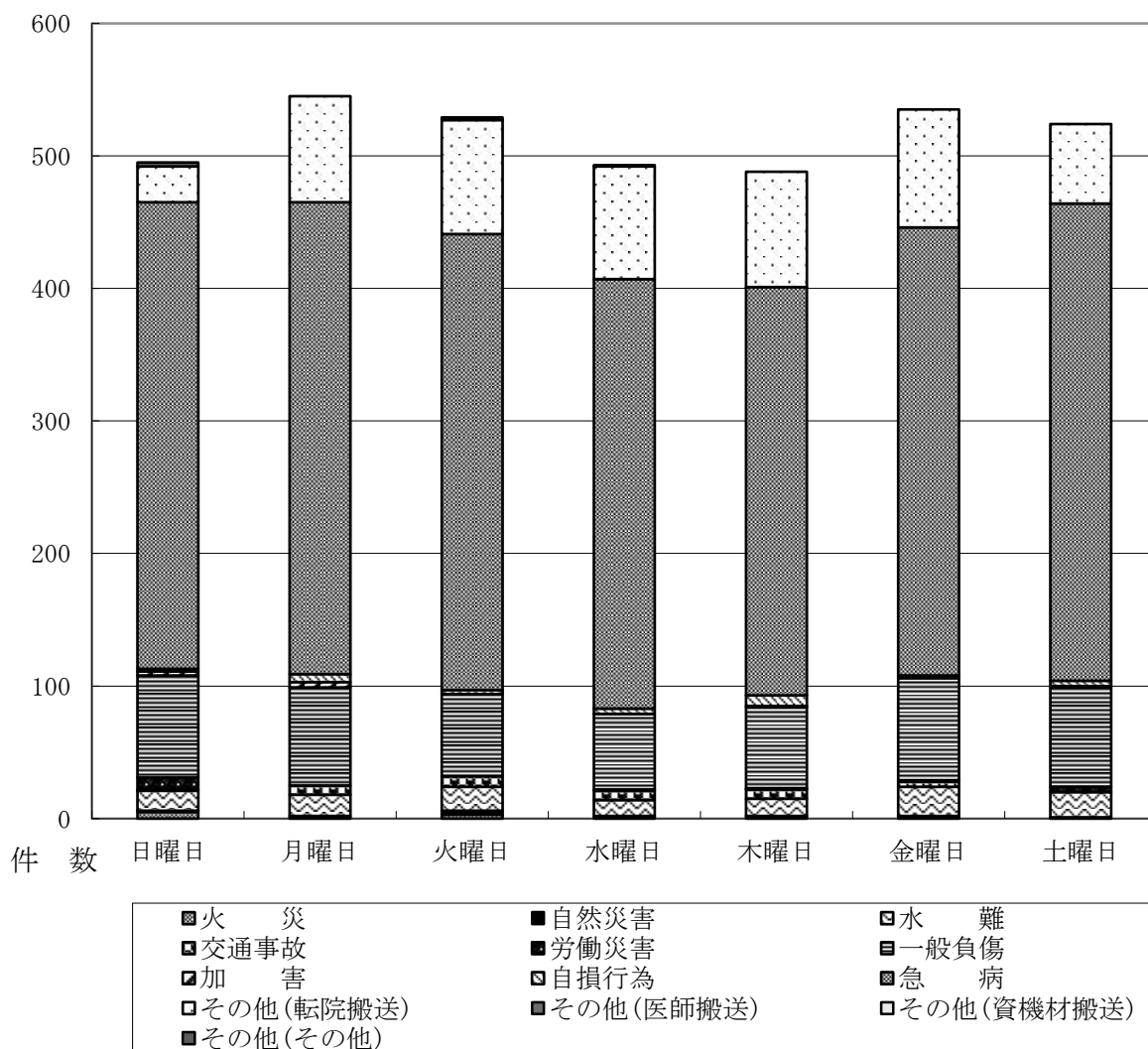


2. 月別救急出場状況

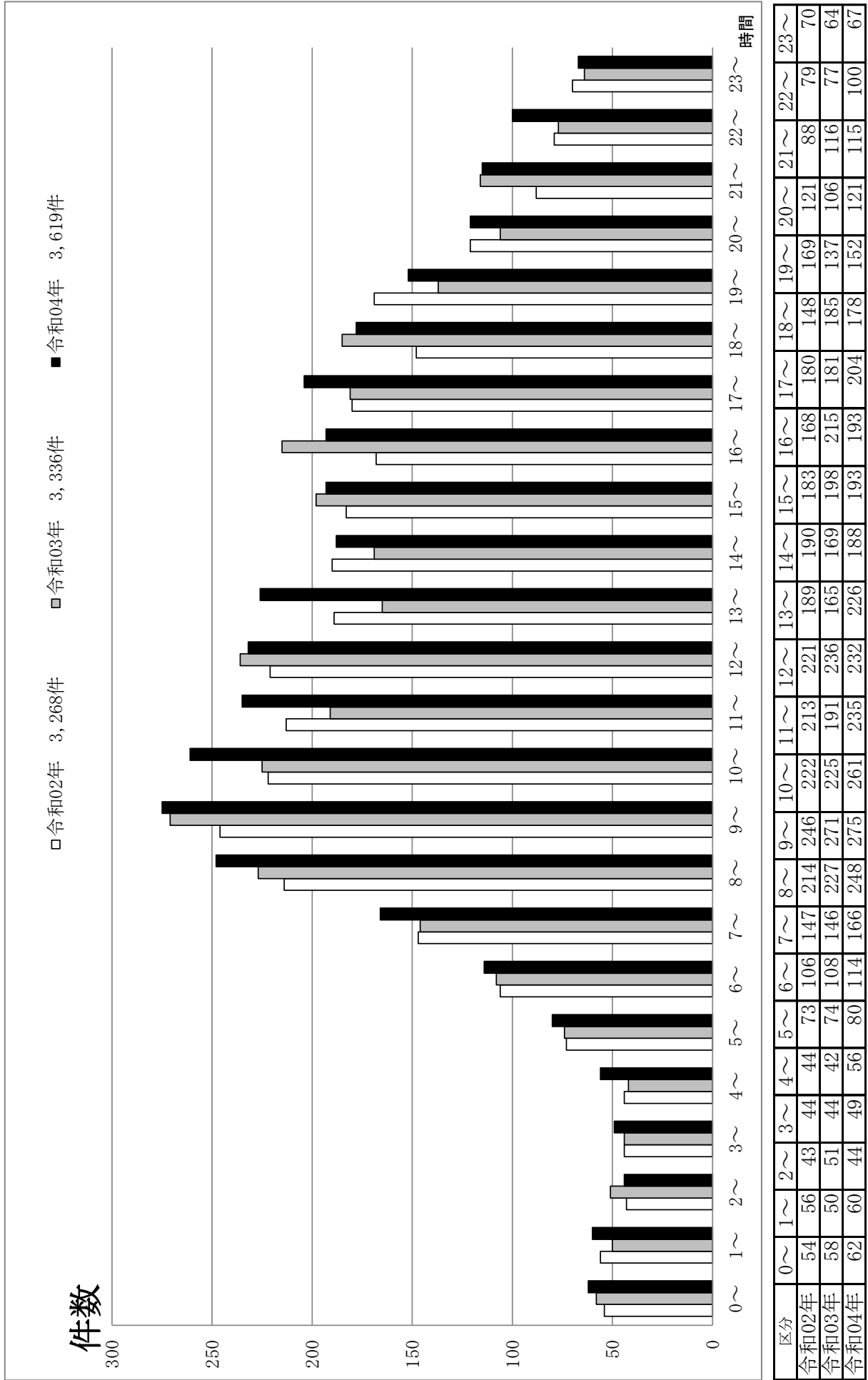
月	事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
	区分	合計											転院搬送	医師搬送	資等機搬材送	その他
1月	出場件数	304				11	3	1	43			202	44			
	不搬送	18				2			2			14				
	搬送人員	288				11	3	1	41			188	44			
2月	出場件数	245				4	2		33		2	167	37			
	不搬送	15				2			1		1	11				
	搬送人員	232				4	2		32		1	156	37			
3月	出場件数	300	1	4		8	1		33	1	2	203	47			
	不搬送	14	1						2		1	7	3			
	搬送人員	286		4		8	1		31	1	1	196	44			
4月	出場件数	241	4		3	10	2		31		4	137	50			
	不搬送	17	4			1			2		2	7	1			
	搬送人員	226			3	11	2		29		2	130	49			
5月	出場件数	294	3			14	5	1	42		3	188	37			1
	不搬送	22	3			2					1	14	1			1
	搬送人員	272				12	5	1	42		2	174	36			
6月	出場件数	287	2			12	5	4	30		2	189	43			
	不搬送	14	2						1		1	10				
	搬送人員	273				12	5	4	29		1	179	43			
7月	出場件数	343	4	1		10	5	3	47		3	225	45			
	不搬送	15	3	1		2			2		1	6				
	搬送人員	328	1			8	5	3	45		2	219	45			
8月	出場件数	320			1	13	4	2	38	1	5	218	38			
	不搬送	17			1	1			1		1	13				
	搬送人員	303				12	4	2	37	1	4	205	38			
9月	出場件数	319	1			7	5	3	50	4	2	191	56			
	不搬送	17	1						3		1	12				
	搬送人員	304				7	5	3	47	5	1	180	56			
10月	出場件数	310				13	4	1	47		2	206	35			2
	不搬送	22				3			4			13				2
	搬送人員	288				10	4	1	43		2	193	35			
11月	出場件数	317	1			8	2	1	44		2	212	44			3
	不搬送	22	1			1			2		1	13	1			3
	搬送人員	296				8	2	1	42		1	199	43			
12月	出場件数	339	1			5	1		45	3	2	244	38			
	不搬送	15	1						2		1	11				
	搬送人員	324				5	1		43	3	1	233	38			
合計	出場件数	3,619	17	5	4	115	39	16	483	9	29	2,382	514			6
	不搬送	208	16	1	1	14			22		11	131	6			6
	搬送人員	3,420	1	4	3	108	39	16	461	10	18	2,252	508			

3. 曜日別救急出場状況

事故種別 曜日	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他	
日曜日	5		1	15	1	9	77	3	2	352	27			3	495
月曜日	2			16	7		74	4	6	356	80				545
火曜日	3		3	18	8		62		3	344	86			2	529
水曜日	2	2		12	7	1	57		4	324	85			1	495
木曜日	2	2		13	7	1	61	1	8	308	87				490
金曜日	2			22	4	1	77		2	338	89				535
土曜日	1	1		19	5	4	75	1	4	360	60				530
合計	17	5	4	115	39	16	483	9	29	2,382	514			6	3,619



4. 時間別救急出場状況



5. 地区別救急出場状況

地区	事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
	区分	合計											転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他
築館	出場件数	902	4	2	4	24	10	5	97	2	3	456	294			1
	不搬送	42	4		1	5			5			24	2			1
	搬送人員	861		2	3	19	10	5	92	3	3	432	292			
若柳	出場件数	576	3	2		17	7	1	69	1	2	378	95			1
	不搬送	30	3			3			3		1	18	1			1
	搬送人員	546		2		14	7	1	66	1	1	360	94			
栗駒	出場件数	583	1			21	5	5	82	1	3	402	62			1
	不搬送	42	1			2			5		3	28	2			1
	搬送人員	544				22	5	5	77	1		374	60			
高清水	出場件数	177	1	1		11	5		22	2	1	130	4			
	不搬送	10	1	1					2		1	5				
	搬送人員	168				11	5		20	2		126	4			
一迫	出場件数	392	1			5	4	2	48		3	302	27			
	不搬送	20	1						1			17	1			
	搬送人員	373				6	4	2	47		3	285	26			
瀬峰	出場件数	236	3			6	2	3	36		2	167	16			1
	不搬送	18	2						1		1	13				1
	搬送人員	219	1			7	2	3	35		1	154	16			
鶯沢	出場件数	107				5	1		23			78				
	不搬送	2				1						1				
	搬送人員	105				4	1		23			77				
金成	出場件数	309	2			11	2		57	2	6	227				2
	不搬送	20	2			1			3		1	11				2
	搬送人員	289				10	2		54	2	5	216				
志波姫	出場件数	270	1			10	2		37	1	6	197	16			
	不搬送	15	1			2			1		3	8				
	搬送人員	255				8	2		36	1	3	189	16			
花山	出場件数	60	1			2	1		12		3	41				
	不搬送	8	1						1		1	5				
	搬送人員	52				2	1		11		2	36				
高・速管道外	出場件数	7				3						4				
	不搬送	1										1				
	搬送人員	8				5						3				
合計	出場件数	3,619	17	5	4	115	39	16	483	9	29	2,382	514			6
	不搬送	208	16	1	1	14			22		11	131	6			6
	搬送人員	3,420	1	4	3	108	39	16	461	10	18	2,252	508			

6. 署所別救急出場状況

署所別	区分	事故種別 合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他
栗原	出場件数	1,126	7	2	2	38	11	6	118	2	5	678	256			1
	不搬送	56	6		1	7			3		4	32	2			1
	搬送人員	1,072	1	2	1	33	11	6	115	2	1	646	254			
東	出場件数	842	3	1		28	9	2	123	3	10	572	88			3
	不搬送	46	3			3			4		1	32				3
	搬送人員	797		1		25	9	2	119	4	9	540	88			
北	出場件数	718	6	1		22	7	3	107	2	7	467	95			1
	不搬送	51	6			3			7		5	28	1			1
	搬送人員	669		1		21	7	3	100	2	2	439	94			
南	出場件数	511		1	1	19	9	4	77	1	2	350	46			1
	不搬送	34		1		1			7		1	21	2			1
	搬送人員	481			1	21	9	4	70	1	1	330	44			
西	出場件数	422	1		1	8	3	1	58	1	5	315	29			
	不搬送	21	1						1			18	1			
	搬送人員	401			1	8	3	1	57	1	5	297	28			
合計	出場件数	3,619	17	5	4	115	39	16	483	9	29	2,382	514			6
	不搬送	208	16	1	1	14			22		11	131	6			6
	搬送人員	3,420	1	4	3	108	39	16	461	10	18	2,252	508			

7. 性別・年齢別搬送状況

区分	10歳未満	10歳以上	20歳以上	30歳以上	40歳以上	50歳以上	60歳以上	70歳以上	80歳以上	合計
男性	46	34	50	53	76	114	223	361	717	1,674
女性	29	26	35	42	65	60	144	290	1,055	1,746
合計	75	60	85	95	141	174	367	651	1,772	3,420

8. 傷病程度別搬送状況

区 分		死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
性 別	男	38	229	882	525		1,674
	女	36	253	917	540		1,746
計		74	482	1,799	1,065		3,420

9. 収容所要時間状況（覚知から医療機関に収容するまでに要した時間）

区 分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計
急 病			101	1,537	596	18	2,252
交 通 事 故		1		69	35	3	108
一 般 負 傷		3	19	305	128	6	461
そ の 他		2	22	386	184	5	599
計		6	142	2,297	943	32	3,420

10. 不搬送件数及び事由

事由	月												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
辞退(到着前)					1	1		2		2		1	7
辞退(到着後)	5	3	4	3	5	3	7	10	6	9	5	2	62
拒 否	1	2	2		5		1		4		2	2	19
明らかな死亡	10	8	4	9	7	4	4	4	6	9	8	9	82
他車(隊)搬送	1		1	2		2					1		7
傷病者なし		1		1	2		1		1	1	2	1	10
誤報いたずら					1	1					2		4
そ の 他	1	1	3	2	1	3	2	1		1	2		17
合 計	18	15	14	17	22	14	15	17	17	22	22	15	208

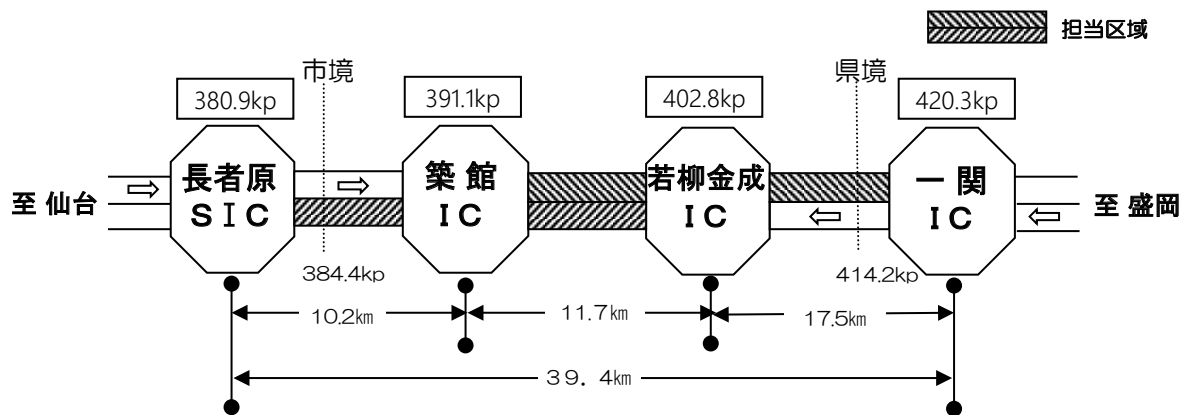
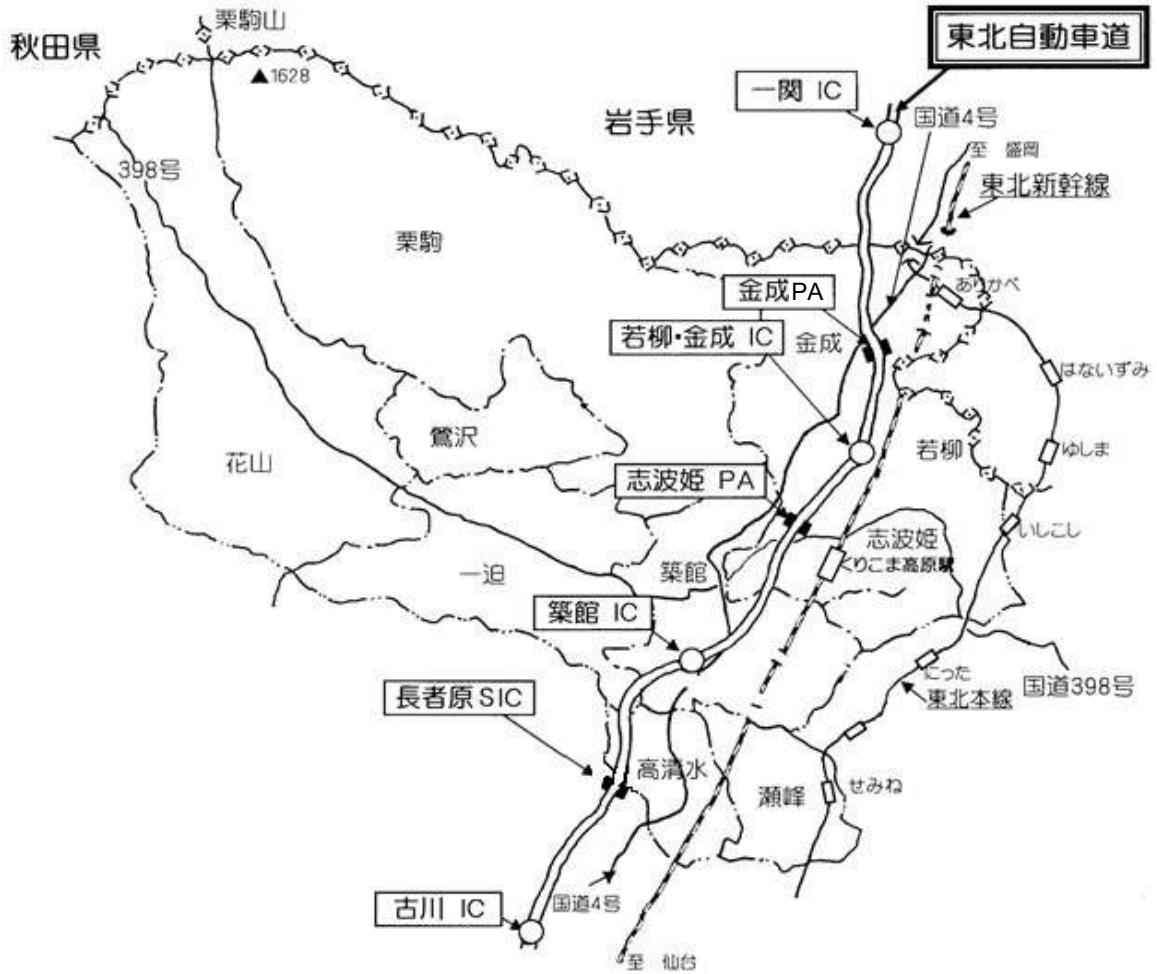
11. 救急隊員の行った応急処置件数

対象人員及び応急処置		事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	計
		急病	交通事故					
対象人員		2,252	108	461	599	3,420		
応急処置	止血	9	7	75	17	108		
	固定	12	55	49	19	135		
	人工呼吸	17		3		20		
	心マッサージ	4		2		6		
	心肺蘇生	91	1	15	7	114		
	酸素吸入	692	12	52	133	889		
	気道確保	128	1	23	8	160		
	保温	20		3	4	27		
	被覆	10	12	75	16	113		
	在宅療法継続	15			2	17		
	ショックパンツによる血圧保持							
	除細動	9			1	10		
	薬剤投与	39	1	8	5	53		
	その他の応急処置	2,187	106	450	591	3,334		
	血圧測定	2,150	107	440	586	3,283		
	聴診器による心音・呼吸音の聴取	793	38	70	79	980		
	血中酸素飽和度の測定	2,166	107	447	591	3,311		
	心電図	2,158	89	369	556	3,172		
	静脈路確保（CPA前）	52	1	3	1	57		
	静脈路確保（CPA後）	49	1	10	5	65		
血糖測定	65		2	1	68			
ブドウ糖投与	6		1		7			
計	10,672	538	2,097	2,622	15,929			

12. 事故種別・医療機関別搬送人員

告示の別等	事故種別		急病		交通事故		一般負傷		その他		計	
	開設者別		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外	
救急 医療 機関 告示	国	立	5	5	2	2	5	5	13	13	25	25
	公	立	2,159	285	104	11	440	42	496	276	3,199	614
	公	的	5	5	1	1	2	2	12	12	20	20
	私	院	21	21			2	2	62	62	85	85
		診療所	1	1							1	1
	計	2,191	317	107	14	449	51	583	363	3,330	745	
その 医療 機関 の関	国	立	1	1							1	1
	公	立	1	1					4	4	5	5
	公	的										
	私	院	13	5			1	1	4	4	18	6
		診療所	46	4	1		11		8	7	66	11
	計	61	11	1		12		16	12	90	23	
計	国	立	6	6	2	2	5	5	13	13	26	26
	公	立	2,160	286	104	11	440	42	500	280	3,204	619
	公	的	5	5	1	1	2	2	12	12	20	20
	私	院	34	26			3	2	66	63	103	91
		診療所	47	5	1		11		8	7	67	12
	計	2,252	328	108	14	461	51	599	375	3,420	768	
その 場所 他	接	骨院等										
	そ	の										
	他	計										
	合	計	2,252	328	108	14	461	51	599	375	3,420	768

13. 東北自動車道管轄区域

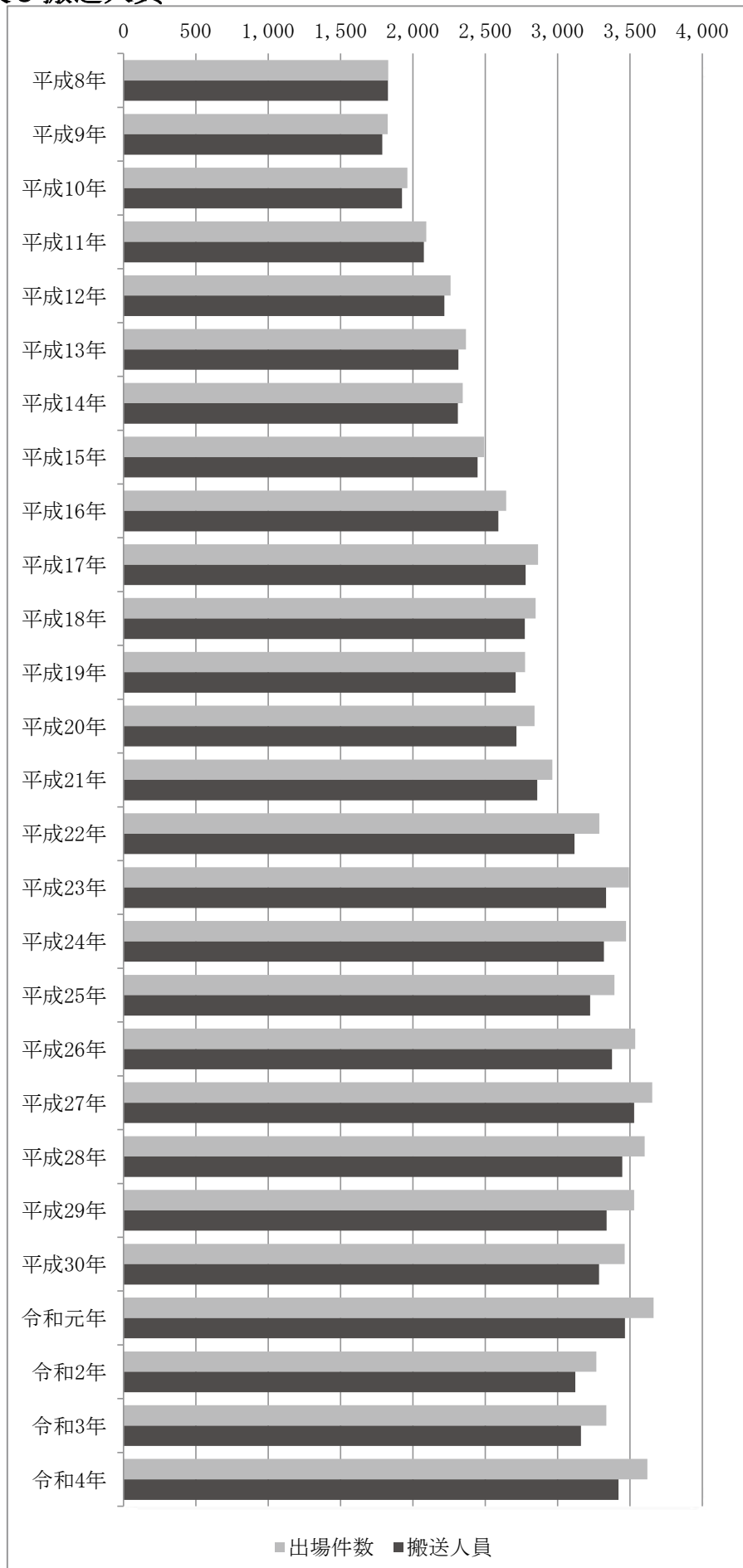


14. 東北自動車道への救急出場状況

No.	月日	覚知時分	種別	発生場所	傷病者数	搬送先	事故等の概要
1	1月15日	12:02	交通	高速道路東北自動車道下り393KP	3	栗原市 栗原市立栗原中央病院 栗原市 栗原市立栗原中央病院 栗原市 栗原市立栗原中央病院	普通乗用車と大型トラックの衝突事故により、傷病者3名発生したものの。
2	8月7日	9:44	急病	高速道路東北自動車道上り金成パーキングエリア	1	大崎市 大崎市民病院救命救急センター	トラック運転手が左下腹部痛があるもの。
3	8月18日	18:53	急病	高速道路東北自動車道上り金成パーキングエリア	1	栗原市 栗原市立栗原中央病院	胸苦感、後頭部、後頸部及び腰部の痛みがあるもの。
4	8月27日	5:20	急病	高速道路東北自動車道上り金成パーキングエリア	1	一関市 岩手県立磐井病院	男児が発熱と痙攣があるもの。
5	9月10日	21:33	急病	高速道路東北自動車道上り志波姫パーキングエリア	1		男児が発熱があり、ぐったりしているもの。
6	11月3日	17:33	交通	高速道路東北自動車道下り402.5KP	2	栗原市 栗原市立栗原中央病院 栗原市 栗原市立栗原中央病院	停車中の道路標識車に軽自動車が追突し、傷病者2名が発生したものの。

15. 年別救急出場状況及び搬送人員

年	出場件数	搬送人員
平成8年	1,830	1,827
平成9年	1,826	1,788
平成10年	1,961	1,924
平成11年	2,092	2,075
平成12年	2,260	2,218
平成13年	2,367	2,314
平成14年	2,344	2,310
平成15年	2,492	2,446
平成16年	2,644	2,590
平成17年	2,865	2,779
平成18年	2,848	2,773
平成19年	2,775	2,709
平成20年	2,840	2,715
平成21年	2,963	2,858
平成22年	3,287	3,117
平成23年	3,493	3,335
平成24年	3,473	3,320
平成25年	3,393	3,225
平成26年	3,536	3,376
平成27年	3,654	3,529
平成28年	3,601	3,446
平成29年	3,529	3,338
平成30年	3,463	3,286
令和元年	3,662	3,465
令和2年	3,268	3,122
令和3年	3,336	3,161
令和4年	3,619	3,420



16. 過去10年間の事故種別救急出場状況

年	事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			合計
	区分	種別											転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	
平成25年	出場件数	5	1	1	224	26	25	2,118	366	5	25	590			7	3,393
	搬送人員	3			227	26	19	1,982	349	5	19	586			3	3,225
平成26年	出場件数	5		4	223	15	33	2,247	369	10	33	596			5	3,536
	搬送人員	4		2	227	15	15	2,130	350	9	15	594			1	3,376
平成27年	出場件数	9	5		234	40	27	2,233	419	7	27	651			6	3,654
	搬送人員	5	1		257	40	18	2,119	405	7	18	651			3	3,529
平成28年	出場件数	15		1	224	40	30	2,246	400	8	30	606			8	3,601
	搬送人員	8			246	40	20	2,118	382	7	20	602				3,446
平成29年	出場件数	14		6	216	24	28	2,226	365	9	28	620			3	3,529
	搬送人員	1		4	217	24	14	2,090	348	5	14	617				3,338
平成30年	出場件数	16			182	46	27	2,209	401	6	27	554			4	3,463
	搬送人員	5			170	46	10	2,092	388	4	10	552				3,286
令和元年	出場件数	28	2	2	189	46	21	2,405	417	5	21	516			9	3,662
	搬送人員	11	1	1	177	44	16	2,275	399	4	16	514			1	3,465
令和2年	出場件数	20		2	143	33	24	2,071	457	4	24	505			5	3,268
	搬送人員	9		1	147	33	16	1,969	436	3	16	503			1	3,122
令和3年	出場件数	13		3	137	32	27	2,140	430	5	27	519			9	3,336
	搬送人員	6		2	140	32	18	2,009	409	4	18	518			2	3,161
令和4年	出場件数	17	5	4	115	39	29	2,382	483	9	29	514			6	3,619
	搬送人員	1	4	3	108	39	18	2,252	461	10	18	508				3,420

17. 救急講習実施状況

地区	項目 年次	普通救急講習Ⅰ		普通救急講習Ⅱ		普通救急講習Ⅲ		上級救命講習		救命入門コース		応急手当 普及員講習		一般講習		合計		
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数
築館	令和2年	14	245												16		15	261
	令和3年	5	51												1	3	8	114
	令和4年	17	146	1	15				1	10					8	419	27	590
若柳	令和2年																	
	令和3年																1	15
	令和4年																	
	令和4年																	
栗駒	令和2年																	
	令和3年	1	10								2	112			1	15	3	127
	令和4年	4	20							1	28				2	38	2	38
	令和4年									1	49				2	69	7	138
高清水	令和2年																	
	令和3年	1	12															1
	令和4年																	
	令和4年																	
一迫	令和2年	1	40								1	57					2	97
	令和3年	4	44							1	46						5	90
	令和4年															1	38	1
	令和4年															1	15	1
瀬峰	令和2年																	
	令和3年																	
	令和4年																	
	令和4年																	
鷺沢	令和2年																	
	令和3年	1	12														1	5
	令和4年	2	22															2
	令和4年																	
金成	令和2年																	
	令和3年	1	14															1
	令和4年	2	35								1	50			2	51	5	136
	令和4年																	
志波姫	令和2年																	
	令和3年	2	20															2
	令和4年																	
	令和4年										1	53						1
花山	令和2年																	
	令和3年	1	10															1
	令和4年																	
	令和4年																	
栗原市	令和2年	15	285								3	169			1	16	2	30
	令和3年	16	173							2	74				5	83	23	330
	令和4年	25	223	1	15					1	10	3	152		14	588	44	988
	令和4年																	
管外計	令和2年																	
	令和3年																	
	令和4年																	
	令和4年																	
合計	令和2年	15	285								3	169			1	16	2	30
	令和3年	16	173							2	74				5	83	23	330
	令和4年	25	223	1	15					1	10	3	152		14	588	44	988
	令和4年																	

※ 築館地区には、定期普通救命講習を含む。 ※ 普通救命講習Ⅱ・Ⅲ・上級及び普及員講習は、講習会開催地に記入。

18. 救助活動実施状況

種 別	件 数 人員等 出 動 件 数	活 動 件 数	出 動 延 人 員	内		救 助 人 員	活 動 車 両 台 数	う ち			
				内 活 動 人 員	内 救 助 隊 員			救 工 作 車	救 急 車	ポ 自 ン 動 プ 車	そ の 他
火 災											
交 通 事 故	6	3	89	46	12	3	14	3	3	4	4
水 難 事 故	3	2	41	24	10	2	9	2	2	1	4
風 水 害 等 自 然 災 害	1	1	11	11	3	6	5	1		1	3
機 械 に よ る 事 故	1	1	11	11	3	1	4	1	1	1	1
建 物 等 に よ る 事 故											
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故											
破 裂 事 故											
そ の 他 の 事 故	5	3	64	37	21	3	12	3	2	2	5
令和4年	16	10	216	129	49	15	44	10	8	9	17
令和3年	20	13	287	168	44	15	54	10	15	12	17
令和2年	32	20	461	296	93	28	89	17	26	16	32
令和元年	36	26	524	378	123	42	119	20	35	22	42
平成30年	30	23	394	265	85	23	85	15	23	19	28
平成29年	38	23	542	301	88	27	96	21	31	22	22
平成28年	19	12	269	148	42	15	48	9	16	10	13
平成27年	33	17	447	232	73	23	75	17	25	14	18

19. 救助隊使用資機材等保有状況

令和5年4月1日現在

種 別	品 名	数量	種 別	品 名	数量
一般救助用器具	かぎ付きはしご	1	呼吸保護用器具	送排風機	2
	三連はしご	1	隊員保護用器具	耐電手袋	4
	金属製折りたたみはしご又はワイヤーはしご	2		耐電衣	3
	空気式救助マット	2		耐電ズボン	3
	救命索発射銃	2		耐電長靴	3
	サバイバースリング又は救助用縛帯	5		防塵メガネ	15
	平担架	2		携帯警報器	3
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1		防毒マスク	10
	油圧スプレッダー	1	耐電ヘルメット	3	
	可搬ウィンチ	3	陽圧式化学防護服	2	
	マンホール救助器具	1	化学防護服	10	
	マット型空気ジャッキ一式	3	除染用器具	背負蓄圧式噴霧器	2
	大型油圧スプレッダー	2	水難救助用器具	救命ボート	3
	緊急救出救助用ジャッキ	2		船外機	2
切断用器具	油圧切断機	4		救命胴衣	17
	エンジンカッター	2	救命浮環	6	
	ガス溶断器	1	山岳救助用器具	バスケット型担架	3
	チェーンソー	3	高度救助用器具	画像探索機	1
	鉄線カッター	3		地中音響探知機	1
	大型油圧切断機	2		熱画像直視装置	1
	空気切断機	3		夜間用暗視装置	1
破壊用器具	万能斧	4	地震警報機	1	
	削岩機	3	その他の救助用器具	投光器一式	1
	ハンマー	5		携帯投光器	10
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	4		携帯拡声器	1
	放射線測定器	2		携帯無線機	1
	有毒ガス測定器	4		応急処置用セット	2
呼吸保護用器具	空気呼吸器	54		緩降機	1
	空気補充用ポンプ	100		発電機	1
	酸素呼吸器	10			
	エアラインマスク	1			
	簡易呼吸器	3			

予 防

1. 危険物施設の現況
2. 危険物施設の申請・届出処理状況（月別）
3. 危険物施設の申請・届出処理状況（施設別）
4. 危険物施設の立入検査状況
5. 宮城県からの権限移譲事務に伴う申請・届出処理状況
6. 防火対象物の現況
7. 防火対象物の立入検査状況
8. 消防法及び火災予防条例の届出処理状況
9. 防火管理者を定めなければならない防火対象物数及び防火管理者・消防計画届出状況
10. 防火管理講習受講状況
11. 建築物状況（地区・階別）
12. 建築許可等の同意事務処理状況（地区・工事別）
13. 建築許可等の同意事務処理状況（地区・月別）
14. 建築許可等の同意事務処理状況（地区・用途別）
15. 婦人防火クラブ及び幼年消防クラブの現況
16. 広報活動状況

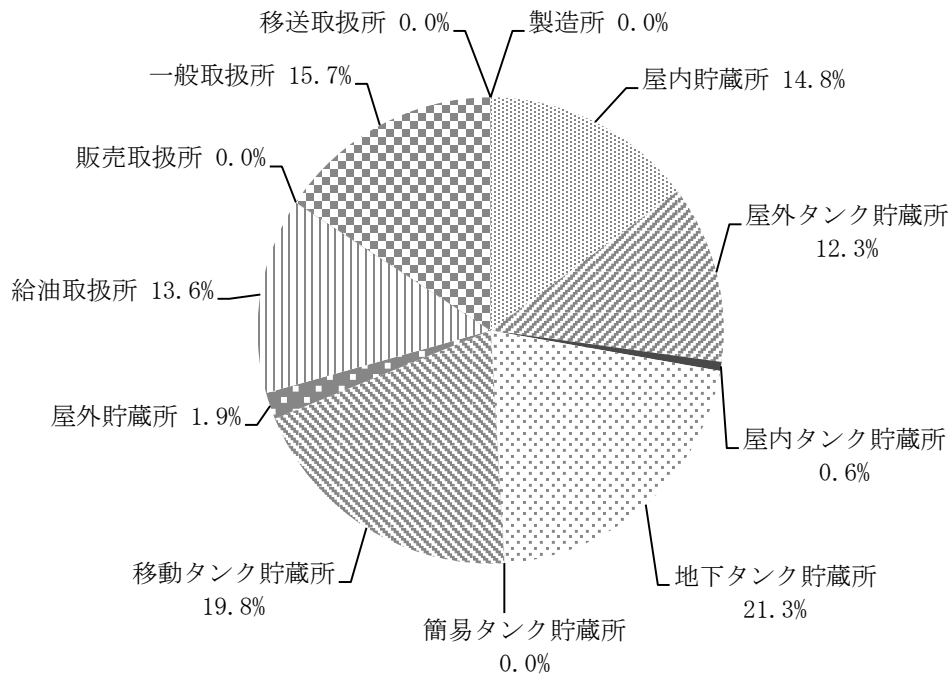


(一社) 宮城県消防設備協会より住宅用火災警報器寄贈

1. 危険物施設の現況

令和5年4月1日現在

施設	項目	施設数	構成比
製造所			0.0%
貯蔵所	屋内貯蔵所	48	14.8%
	屋外タンク貯蔵所	40	12.3%
	屋内タンク貯蔵所	2	0.6%
	地下タンク貯蔵所	69	21.3%
	簡易タンク貯蔵所		0.0%
	移動タンク貯蔵所	64	19.8%
	屋外貯蔵所	6	1.9%
	小計	229	70.7%
取扱所	給油取扱所	44	13.6%
	販売取扱所		0.0%
	一般取扱所	51	15.7%
	移送取扱所		0.0%
	小計	95	29.3%
合計		324	100.0%



2. 危険物施設の申請・届出処理状況（月別）

令和4年4月1日～令和5年3月31日

申請・届出		月												合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
仮貯蔵・仮取扱承認申請										1					1
許可申請	設置					1							2	2	5
	変更		1	2	4		2	2		1		1	4	17	
仮使用承認申請			1	2	2		2	1				1	3	12	
完成検査前 検査申請	水圧検査														
	水張検査														
完成検査 申請	設置				1		1							2	
	変更	2		1	3	1	4		2	2		1	2	18	
予防規程	制定認可申請						1							1	
	変更認可申請		1	2					1	2			1	7	
譲渡・引渡届		1	1		1			1				1	3	8	
品名・数量・倍数変更届		1										2		3	
廃止届（転出含む）		1					1		2		1			5	
保安監督者	選任届	2	2				1	2	2			1		10	
	解任届	3	2				1	2	1					9	
資料提出書	設置者の氏名等の変更	9	1	1	1	1	3		12		2	1	3	34	
	軽微な変更 規制外の変更	4	3	7	5	7	2	4	6	5	3	4	2	52	
	休止・再開														
	災害発生			1										1	
申請の取下げ届															

3. 危険物施設の申請・届出処理状況（施設別）

令和4年4月1日～令和5年3月31日

申請・届出 施設		許可申請		仮使用承認申請	完成検査前 検査申請		完成検査 申請		予防規程		譲渡・引渡届	品名・数量・ 倍数変更届	廃止届（転出含む）	保安監督者		資料提出書				申請の 取下げ届	仮貯蔵・ 仮取扱承認申請	
		設置	変更		水圧検査	水張検査	設置	変更	制定認可申請	変更認可申請				選任届	解任届	設置者の氏名等の変更	軽微な変更・規制外の変更	休止・再開	災害発生			
合	計	5	17	12			2	18	1	7	8	3	5	10	9	34	52		1		1	
製造所																						
貯蔵所	屋内貯蔵所	2					1					1		4	3	4	1					
	屋外タンク貯蔵所	1						1			1	1				5						
	屋内タンク貯蔵所		1					1														
	地下タンク貯蔵所										3			1	1	14	1					
	簡易タンク貯蔵所																					
	移動タンク貯蔵所	1						1				1		4			1	2				
	屋外貯蔵所																					
取扱所	給油取扱所	営業用	8	7			7	1	6	2				3	2	4	17		1			
		自家用	1														1	2				
	販売取扱所	第1種																				
		第2種																				
	一般取扱所		8	5				9		1	1	1	1	2	3	5	29					
	移送取扱所																					

4. 危険物施設の立入検査状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

施設 区分		立入 検査 数	不備 欠陥 指摘 数	改修状況		
				改修 済	一部 改修	未改 修
製 造 所						
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	18	7	3	1	3
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	5				
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所					
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	26	10	2		8
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所					
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	44	7	4	1	2
	屋 外 貯 蔵 所	1				
取 扱 所	給 油 取 扱 所	24	4	1	2	1
	販 売 取 扱 所					
	一 般 取 扱 所	15	2	2		
	移 送 取 扱 所					
合 計		133	30	12	4	14

5. 宮城県からの権限移譲事務に伴う申請・届出処理状況

(1) 火薬類取締法に関する移譲事務

		令和4年4月1日～令和5年3月31日										
申請	地区	築館	若柳	栗駒	高清水	一迫	瀬峰	鶯沢	金成	志波姫	花山	合計
煙火消費許可申請			1								1	2
火工品譲受許可申請												
火薬類譲受許可申請(その他)												
火薬類消費許可申請(その他)												
火薬類譲受許可申請(25kg以下)												
火薬類消費許可申請(25kg以下)												
合計			1								1	2

(2) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に関する移譲事務

		令和4年4月1日～令和5年3月31日										
届出	地区	築館	若柳	栗駒	高清水	一迫	瀬峰	鶯沢	金成	志波姫	花山	合計
液化石油ガス設備工事届		2										2
特定液化石油ガス設備工事事業開始届										1		1
特定液化石油ガス設備工事事業変更届				1								1
特定液化石油ガス設備工事事業廃止届										1		1
合計		2		1						2		5

6. 防火対象物の現況

令和5年4月1日現在

用途	地区	築	若	栗	高	一	瀬	鶯	金	志	花	合計
		館	柳	駒	清	迫	峰	沢	成	波	山	
1	イ 劇場・映画館等	4	1	1								6
	ロ 公会堂・集会場等	9	9	8	3	3	2	5	5	2		46
2	イ キャバレー・カフェー等											
	ロ 遊技場・ダンスホール	4	1	1						1		7
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗											
	ニ カラオケボックス等									1		1
3	イ 待合・料理店等				1							1
	ロ 飲食店	31	9	7	1	2	1		4	3	1	59
4	百貨店・マーケット等	39	26	19	5	6	4		13	11		123
5	イ 旅館・ホテル等	16	8	7		1	1	1	4		20	58
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	64	38	18	6	5	6		5	22	1	165
6	イ 病院・診療所・助産所	13	10	5	2	5	4	1	2	3	1	46
	ロ 老人短期入所施設等	17	24	11	7	12	4	3	18	7	1	104
	ハ 老人デイサービスセンター等	15	13	11	2	12	4	5	7	6	1	76
	ニ 幼稚園・特別支援学校等	2				2		1	4		1	10
7	学校・各種学校等	27	13	10	2	13	9	2	3	4	2	85
8	図書館・博物館・美術館等	3	2	2		1		1			1	10
9	イ 公衆浴場で蒸気浴場等											
	ロ イ以外の公衆浴場	1				1			1			3
10	停車場・発着場						1			1		2
11	神社・寺院・教会等	7	8	8	3	6			3	5		40
12	イ 工場・作業場	101	59	44	43	36	18	37	50	27		415
	ロ 映画・テレビスタジオ											
13	イ 自動車庫庫・駐車場	7	2	1	1	2	2	1	3	2		21
	ロ 飛行機格納庫等											
14	倉庫	66	37	33	42	35	16	28	32	11	3	303
15	前各号に該当しない事業所	134	64	83	63	56	27	32	132	33	15	639
16	イ 特定複合用途防火対象物	32	20	28	4	14	1	1	9	8	6	123
	ロ 非 〃	27	8	8	2	2	4	3	3	8	2	67
16の2	地下街											
16の3	建築物の地階で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの											
17	重要文化財	1	2	1		1	1		3		3	12
18	50メートル以上のアーケード											
19	市町村長の指定する山林											
20	省令の指定する舟車											
合計		620	354	306	187	215	105	121	301	155	58	2,422

7. 防火対象物の立入検査状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

用途	区分	立入検査数	不備欠陥指摘数	改修状況		
				改修済	一部改修	未改修
1	イ 劇場・映画館等					
	ロ 公会堂・集会場等	6	5		3	2
2	イ キャバレー・カフェ等					
	ロ 遊技場・ダンスホール	1	1	1		
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗					
	ニ カラオケボックス等					
3	イ 待合・料理店等	1				1
	ロ 飲食店	13	12	2	4	6
4	百貨店・マーケット等	37	24	8	5	11
5	イ 旅館・ホテル等	10	7	5	1	1
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	13	6		1	5
6	イ 病院・診療所・助産所					
	ロ 老人短期入所施設等	19	13	5	2	6
	ハ 老人デイサービスセンター等	16	10	5	2	3
	ニ 幼稚園・特別支援学校等	2	1			1
7	学校・各種学校等	3	3	1	1	1
8	図書館・博物館・美術館等	3	1		1	
9	イ 公衆浴場で蒸気浴場等					
	ロ イ以外の公衆浴場	1				
10	停車場・発着場	1				
11	神社・寺院・教会等	7	6	1	2	3
12	イ 工場・作業場	49	35	7	3	25
	ロ 映画・テレビスタジオ					
13	イ 自動車庫庫・駐車場	2	2			2
	ロ 飛行機格納庫等					
14	倉庫	50	24	5	2	17
15	前各号に該当しない事業所	111	78	12		66
16	イ 特定複合用途防火対象物	20	15	3	3	9
	ロ 非 〃	8	4	1	1	2
16の2	地下街					
16の3	建築物の地階で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの					
17	重要文化財	2	1			1
18	50メートル以上のアーケード					
19	市町村長の指定する山林					
20	省令の指定する舟車					
合 計		375	248	56	31	162

8. 消防法及び火災予防条例の届出処理状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

地区 届出		築	若	栗	高	一	瀬	鶯	金	志	花	合
		館	柳	駒	清 水	迫	峰	沢	成	波 姫	山	計
1	防火管理者選任（解任）届	37	29	23	9	11	7	10	14	17	6	163
2	消防計画作成（変更）届	55	41	36	12	19	10	15	19	19	8	234
3	圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始（廃止）届	5	1						2	1		9
4	消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届	41	21	29	15	18	6	10	18	34	6	198
5	工事整備対象設備等着工届	11	6	4	2	5		2	5	11		46
6	防火対象物使用開始届	49	27	22	14	17	14	10	27	13	7	200
7	火を使用する設備設置届	3	7	6	1	4	1	5	12	4	1	44
8	燃料電池発電設備・変電設備・発電設備・蓄電池設備設置届	6	5	2	3		1	4	3	1		25
9	水素ガス充てん気球設置届											
10	火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生おそれのある行為の届	28	30	18	12	30	13	3	9	7	6	156
11	催物開催届	1	1									2
12	煙火打上げ・仕掛け届	3	5		2	6			1	4	1	22
13	少量危険物貯蔵、取扱い届	10	10	3	3	5		5	5			41
14	指定可燃物貯蔵、取扱い届			4	1		1					6
15	道路工事・露店の開設届	24	29	31	4	5	4	1	3	8	8	117
16	水道断水・減水届	7		5		2				1		15
17	ネオン管灯設備設置届											
18	指定洞道等届											
合 計		280	212	183	78	122	57	65	118	120	43	1,278

9. 防火管理者を定めなければならない防火対象物数及び防火管理者・消防計画届出状況

令和5年4月1日現在

用途	地区			築館			若柳			栗駒			高清水			一迫			瀬峰			鷺沢			金成			志波姫			花山			合計																				
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C																		
1				2	1	1	1	1	1	8	8	8	3	3	3	2	2	2	5	5	5	5	5	5	1	1	1										2	2	4															
	イ 劇場・映画館等																																				41	41	41															
	ロ 公会堂・集会場等			5	5	9	9	9	9	8	8	8	3	3	3	2	2	2	5	5	5	5	5	5	1	1	1																											
	イ キャバレー・カプエー等																																																					
	ロ 遊技場・ダンスホール			2	2	1	1	1	1	1	1	1																																										
	ハ 柱風俗関連特殊営業を営む店舗																																																					
	二 カラオケボックス等																																																					
	イ 待合・料理店等																																																					
	ロ 飲食店			28	24	9	7	7	4	4	4	4																																										
	4 百貨店・マーケット等			26	26	18	16	16	16	16	16	16	3	3	3	3	3	3	9	9	9	9	9	9	8	8	8																											
	イ 旅館・ホテル等			4	4	3	3	3	3	8	8	8	1	1	1																																							
	ロ 寄宿舎・共同住宅等			5	4	4	2	2	2	2	2	1	2	2	2																																							
	イ 病院・診療所・助産所			5	5	4	3	3	3	3	3	3	1	1	1																																							
	ロ 老人短期入所施設等			15	14	14	23	23	11	11	11	11	6	6	6	12	12	12	4	4	4	4	4	4	3	3	3	1	1	1																								
	ハ 老人デイサービスセンター等			11	11	11	12	12	12	6	6	6	2	2	2	5	5	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	4																								
	二 幼稚園・特別支援学校等			1	1	1																																																
	7 学校・各種学校等			7	6	5	5	5	5	5	5	5	2	2	2	13	13	13	9	9	9	1	1	1	1	1	1																											
	8 図書館・博物館・美術館等			2	2	2	2	2	2	1	1	1																																										
	イ 公衆浴場で蒸気浴場等																																																					
	ロ イ以外の公衆浴場			1	1	1																																																
	10 停車場・発着場																																																					
	11 神社・寺院・教会等			4	4	4	5	5	5	5	5	5	1	1	1																																							
	イ 工場・作業場			20	20	13	13	13	13	2	2	2	2	2	2	15	15	15	2	2	2	1	1	1	1	1	1	12	12	12	12	12	12	2	2	2																		
	ロ 映画・テレビスタジオ																																																					
	イ 自動車庫・駐車場																																																					
	ロ 飛行機格納庫等																																																					
	14 倉庫						2	1	1																																													
	15 前各号に該当しない事業所			46	25	25	9	9	9	23	23	23	7	7	7	13	13	13	5	4	4	4	4	4	15	15	15	2	2	2	2	2	2	8	8	8	7	7	7															
	イ 特定複合用途防火対象物			32	36	38	9	7	7	17	17	17	6	5	5	10	10	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	8	8	8	5	5	5															
	ロ 非 "			15	15	15				1	1	1																																										
	16の2 地下街																																																					
	16の3 建築物の地階で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合 わせたもの																																																					
	17 重要文化財																																																					
	18 50メートル以上のアーケード																																																					
	19 市町村長の指定する山林																																																					
	20 省令の指定する舟車																																																					
	合計			229	205	209	127	119	119	114	113	113	59	56	56	76	76	76	33	31	31	60	60	60	40	40	40	46	46	46	40	40	40	844	807	811																		

※ 区分欄 A：防火管理者を定めなければならない防火対象物数、B：防火管理者選任数、C：消防計画届出数

10. 防火管理講習受講状況

年 度	講習種別	受講者数	実施回数
昭和46～61年度		1,050 名	16 回
昭和62～63年度	甲種	145 名	2 回
	乙種	8 名	2 回
平成元年度	甲種	65 名	1 回
	乙種	4 名	1 回
平成 2年度	甲種	76 名	1 回
平成 3年度	甲種	92 名	1 回
平成 4年度	甲種	98 名	1 回
平成 5年度	甲種	63 名	1 回
平成 6年度	甲種	78 名	1 回
平成 7年度	甲種	61 名	1 回
平成 8年度	甲種	69 名	1 回
平成 9年度	甲種	66 名	1 回
平成10年度	甲種	52 名	1 回
平成11年度	甲種	50 名	1 回
平成12年度	甲種	59 名	1 回
平成13年度	甲種	51 名	1 回
平成14年度	甲種	59 名	1 回
平成15年度	甲種	48 名	1 回
平成16年度	甲種	46 名	1 回
平成17年度	甲種	73 名	1 回
	甲種(再講習)	27 名	1 回
平成18年度	甲種	52 名	1 回
平成19年度	甲種	62 名	1 回
平成20年度	甲種	69 名	1 回
平成21年度	甲種	68 名	1 回
平成22年度	甲種	75 名	1 回
平成23年度	甲種	56 名	1 回
平成24年度	甲種	98 名	1 回
平成25年度	甲種	87 名	1 回
平成26年度	甲種	81 名	1 回
平成27年度	甲種	73 名	1 回
平成28年度	甲種	73 名	1 回
平成29年度	甲種	57 名	1 回
平成30年度	甲種	60 名	1 回
令和元年度	甲種	54 名	1 回
令和 2年度	中 止		
令和 3年度	甲種	57 名	1 回
令和 4年度	甲種	50 名	1 回
合 計	甲種	3,373 名	51 回
	甲種(再講習)	27 名	1 回
	乙種	12 名	3 回

※甲種の受講者数合計及び実施回数合計は、昭和46年度から昭和61年度の数値を含む。

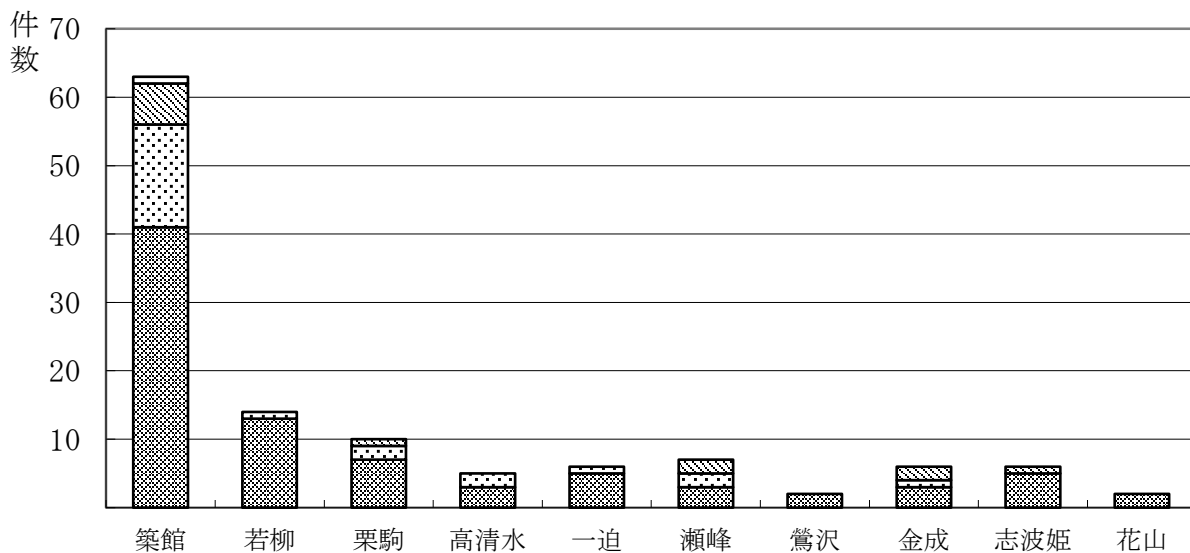
※平成21年度から、一般財団法人日本防火・防災協会に委託し実施している。

11. 建築物状況（地区・階別）

令和5年4月1日現在

地区名 \ 階別	3階	4階	5階	6階から 10階まで	11階以上	計	地階			
							1階	2階	3階	計
築館	41	15	6	1		63	11			11
若柳	13	1				14	5	1		6
栗駒	7	2	1			10	1	3		4
高清水	3	2				5				
一迫	5	1				6	1			1
瀬峰	3	2	2			7	2			2
鶯沢	2					2	2			2
金成	3	1	2			6	7			7
志波姫	5		1	1		7	3			3
花山	2					2	2			2
合計	84	24	12	2		122	34	4		38

■ 3階 □ 4階 ▨ 5階 □ 6階～10階 ■ 11階以上



階別 \ 地区名	築館	若柳	栗駒	高清水	一迫	瀬峰	鶯沢	金成	志波姫	花山
3階	41	13	7	3	5	3	2	3	5	2
4階	15	1	2	2	1	2		1		
5階	6		1			2		2	1	
6階～10階	1									
11階以上										

12. 建築許可等の同意事務処理状況（地区・工事別）

令和4年4月1日～令和5年3月31日

地区 工事		築	若	栗	高	一	瀬	鶯	金	志	花	合
		館	柳	駒	清水	迫	峰	沢	成	波	山	
申請 要 旨	新 築	34	10	16	5	7		1	6	10		89
	増 築								3			3
	改 築											
	移 転											
	修 繕											
	模 様 替											
	用途変更		1	1								2
	計画通知											
	許可認定	6	1	1					1	1		10
合 計		40	12	18	5	7		1	10	11		104

13. 建築許可等の同意事務処理状況（地区・月別）

令和4年4月1日～令和5年3月31日

地区 月		築	若	栗	高	一	瀬	鶯	金	志	花	合
		館	柳	駒	清水	迫	峰	沢	成	波	山	
4月		1	2	1	1			1	1	1		8
5月		6		3					1			10
6月		4	1	1	3				2	1		12
7月		2	1	1		3			1			8
8月		2		3		1			1			7
9月		4		1						4		9
10月		8	1	2		1				2		14
11月		3	3									6
12月		2	1	2	1				2			8
1月		3		2		2						7
2月		3	3							3		9
3月		2		2					2			6
合 計		40	12	18	5	7		1	10	11		104

14. 建築許可等の同意事務処理状況（地区・用途別）

令和4年4月1日～令和5年3月31日

用途		地区											合計
		築館	若柳	栗駒	高清水	一迫	瀬峰	鶯沢	金成	志波姫	花山		
1	イ 劇場・映画館等												
	ロ 公会堂・集会場等			1						1			
2	イ キャバレー・カフェー等												
	ロ 遊技場・ダンスホール	1										1	
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗												
	ニ カラオケボックス等												
3	イ 待合・料理店等												
	ロ 飲食店												
4	百貨店・マーケット等	2	2	2								6	
5	イ 旅館・ホテル等												
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	1										1	
6	イ 病院・診療所・助産所	1		1								2	
	ロ 老人短期入所施設等	1								2		3	
	ハ 老人デイサービス等								1			1	
	ニ 幼稚園・特別支援学校等												
7	学校・各種学校等			1								1	
8	図書館・博物館・美術館等												
9	イ 公衆浴場で蒸気浴場等												
	ロ イ以外の公衆浴場												
10	停車場・発着場												
11	神社・寺院・教会等												
12	イ 工場・作業場	4	1	3								8	
	ロ 映画・テレビスタジオ												
13	イ 自動車車庫・駐車場												
	ロ 飛行機格納庫等												
14	倉庫	6		5		1			1			13	
15	前各号に該当しない事業所	3	5	3	1	4			7	1		24	
16	イ 特定複合用途防火対象物												
	ロ 非 //												
16の2	地下街												
16の3	建築物の地階で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの												
17	重要文化財												
18	50メートル以上のアーケード												
19	市町村長の指定する山林												
20	総務省令で定める舟車												
その他の建築物等		21	4	2	4	2			1	1	7	42	
合計		40	12	18	5	7			1	10	11	104	

15. 婦人防火クラブ及び幼年消防クラブの現況

令和5年4月1日現在

区分 地区	婦人防火クラブ		幼年消防クラブ		備 考
	班数	会員数	クラブ数	クラブ員数	
築 館	23	1,201	2	76	
若 柳	4	210	1	70	
栗 駒	14	383	1	26	
高 清 水	4	68	1	12	
一 迫	16	1,090	1	33	
瀬 峰	9	74	1	23	
鶯 沢	8	814	1	15	
金 成	18	752	1	21	
志 波 姫	8	485	1	45	
花 山	11	160	1	4	
合 計	115	5,237	11	325	

16. 広報活動状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

広報活動内容	延べ回数	出向 延べ人員	備 考
防火防災講習	6 回	12 人	防火映写会を含む。
自衛消防訓練指導	139 回	336 人	消火器取扱訓練を含む。
幼年消防クラブ指導	回	人	任命式を含む。
合 計	145 回	348 人	

その他

1. 防災学習センター利用状況
2. 栗原市消防団協力事業所表示証交付事業所数



防災学習センター見学の様子



消防団による倒壊家屋救出救護訓練
(令和4年度栗原市総合防災訓練)

1. 防災学習センター利用状況

(1) 月別利用状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

月別	団体別		自主防災組織	婦人防火クラブ	学校行事	子ども会	自治会	その他	利用人員
	団体数								
4月									
5月									
6月									
7月	4		1	1	1			1	69
8月	3				1			2	46
9月	3				1			2	26
10月	4				2			2	49
11月	6				2			4	87
12月									
1月	2				2				67
2月									
3月									
合計	22		1	1	9			11	344

(2) 年度別利用状況

年度別	団体別		自主防災組織	婦人防火クラブ	学校行事	子ども会	自治会	その他	利用人員
	団体数								
平成20年度	69		18	4	20		1	26	1,670
平成21年度	61		14	7	15	3	4	18	1,542
平成22年度	69		17	10	25	3		14	1,711
平成23年度	29		9		7		1	12	727
平成24年度	51		12	5	17			17	1,043
平成25年度	38		7	1	12	1	2	15	829
平成26年度	40		7	4	6		2	21	613
平成27年度	46		8	1	11			26	1,127
平成28年度	52		4	6	12		6	24	1,183
平成29年度	53		2	4	18	1	6	22	1,309
平成30年度	44		3	7	10	5		19	1,169
令和元年度	50		2	1	20	3	2	22	1,320
令和2年度	7				4			3	67
令和3年度	2				1			1	16
令和4年度	22		1	1	9			11	344
合計	633		104	51	187	16	24	251	14,670

※栗原市防災学習センターは平成19年5月27日に開館

※新型コロナウイルスにより令和2年から利用制限あり

2. 栗原市消防団協力事業所表示証交付事業所数

年度	事業所数				地区別総数内訳									
	新規	更新	失効数	総数	築館	若柳	栗駒	高清水	一迫	瀬峰	鶯沢	金成	志波姫	花山
平成22年度	23		1	22	7	2	1		8	1			3	
平成23年度	8			30	8	4	2	2	9	1			4	
平成24年度		21	1	29	8(7)	4(2)	2(1)	2	8(7)	1(1)			4(3)	
平成25年度	6	8		35	8(1)	4(2)	2(1)	2(2)	8(1)	1	6		4(1)	
平成26年度	2	21		37	9(7)	4(2)	2(1)	2	8(7)	1(1)	6	1	4(3)	
平成27年度		14		37	9(1)	4(2)	2(1)	2(2)	8(1)	1	6(6)	1	4(1)	
平成28年度		21	2	35	9(8)	4(2)	2(1)	2	6(5)	1(1)	6	1(1)	4(3)	
平成29年度		12	2	33	9(1)	4(2)	2(1)	1(1)	5	1	6(6)	1	4(1)	
平成30年度		21		33	9(8)	4(2)	2(1)	1	5(5)	1(1)	6	1(1)	4(3)	
令和元年度	1	12	1	33	9(1)	4(2)	2(1)	1(1)	5	1	6(6)	1	4(1)	
令和2年度	3	20	1	35	11(8)	5(2)	2(1)	1	5(5)	1(1)	6		4(3)	
令和3年度	1	10	3	33	11(1)	6(2)	2(1)	1(1)	5	1	3(3)		4(2)	
令和4年度		22		33	11(10)	6(3)	2(1)	1	5(5)	1(1)	3		4(2)	

※平成22年4月1日から制度開始。

※認定期間は、認定の日から2年間のため、2年毎に更新を行っています。

※()はうち更新事業所数。



ねじりほんによ
消防団バージョン

【令和4年度栗原市防火ポスター】



小学生の部



中学生の部

令和5年版 消防年報

発行年月 令和5年7月

編集・発行 栗原市消防本部

宮城県栗原市築館字留場中田111番地1
TEL 0228-22-1191 FAX 0228-22-5870
